

7 小学校

(1) 目標及び内容

ア 教科の目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育て、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

(7) 社会生活についての理解

・社会生活についての理解を図る：

- ・人々が相互に様々なかかわりをもちながら生活を営んでいることを理解する
- ・自らが社会生活に適応し、地域社会や国家の発展に貢献しようとする態度を育てる
 - *社会生活：社会とのかかわりの中での人々の生活
 - ・地域の地理的環境や組織的な諸活動の様子など
 - ・我が国の国土の地理的環境や産業と国民生活との関連、我が国の歴史的背景などを含んでいる

(イ) 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情

・我が国の国土に対する理解と愛情を育てる：

- ・身近な地域や市（町）、県の様子についての指導を踏まえて、我が国の国土の地理的環境とそこで営まれている産業の様子などの理解を図り、我が国の国土に対する愛情を育てること

・我が国の歴史に対する理解と愛情を育てる：

- ・市（町）を中心とした地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きを指導を踏まえ、我が国の歴史に対する理解を深めるとともに、我が国の歴史に対する愛情を育てること

(ウ) 公民的資質の基礎

・公民的資質の基礎を養う：

- ・公民的資質：国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者、すなわち市民・国民として行動する上で必要とされる資質
 - ・平和で民主的な国家・社会の形成者としての自覚をもち、自他の人格を互いに尊重し合うこと
 - ・社会的義務や責任を果たそうとすること
 - ・社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりすることなどの態度や能力
 - ・日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きるとともに、持続可能な社会の実現を目指すなど、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎をも含む

*平和で民主的な国家・社会の形成者としてふさわしい市民・国民を育てるために：

- ・各学年の目標に示されている理解、態度、能力に関する目標を統一的に身に付けるようにすることが重要

*児童一人一人に公民的資質の基礎を養うために：

- ・社会科の学習指導において、地域社会や我が国の国土、産業、国土、歴史などに対する理解と愛情を育て、社会的な見方や考え方を養うとともに、問題解決的な学習を一層充実させ、よりよい社会の形成に参画する資質や能力の基礎を一層重視することが大切である

イ 学年の目標

(7) 学年目標の構造

各学年の目標：指導内容と児童の発達の段階を考慮し、理解、態度、能力の統一的な育成を目指して、それぞれに関する目標から構成

第3学年及び第4学年：自分たちの住んでいる地域社会（市や県）の学習

第5学年：国民生活の舞台である国土の地理的環境とそこで営まれている産業に関する学習

第6学年：我が国の歴史、政治及び国際理解に関する学習

(4) 各学年の目標の系統

① 理解に関する目標：

○第3学年及び第4学年：

- ・地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにする
- ・地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにする

○第5学年：

- ・我が国の国土の様子、国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにする
- ・我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにする

○第6学年：

- ・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産についての興味・関心と理解を深めるようにする
- ・日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにする

*理解する内容の系統、段階

第3学年及び第4学年：

- ・自分たちの住んでいる市や県を中心とした地域の人々の生活や諸活動
- ・その生活舞台である地域の地理的環境
- ・地域の人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き

第5学年：

- ・国民生活の舞台である国土とそこで営まれている産業の様子

第6学年：

- ・我が国の国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産
- ・国民生活の向上・発展にかかわりをもつ政治の働きと我が国の政治の考え方、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割

② 態度に関する目標：

○第3学年及び第4学年：

- ・地域社会の一員としての自覚をもつようにする
- ・地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする

○第5学年：

- ・環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め、国土に対する愛情を育てるようにする
- ・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする

○第6学年：

- ・我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする
- ・平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする

③ 能力に関する目標：

○第3学年及び第4学年：

- ・地域における社会的事象を観察、調査する
- ・地図や各種の具体的資料を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする

○第5学年：

- ・社会的事象を具体的に調査する
- ・地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする

○第6学年：

- ・社会的事象を具体的に調査する
- ・地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする

*能力に関する目標の、児童の発達段階を踏まえた系統、段階

・観察力や資料活用力

第3学年及び第4学年：

- ・地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図（絵地図を含む）や各種の具体的資料を効果的に活用することができるようにすること

第5学年：

- ・社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用することができるようにすること

第6学年：

- ・社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用することができるようにすること

を求めている

・社会的な思考力や判断力

第3学年及び第4学年：

- ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力

第5学年：

- ・社会的事象の意味について考える力

第6学年：

- ・社会的事象の意味をより広い視野から考える力

・表現力

いずれの学年においても調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすることを求めている

ウ 社会科の内容

(7) 第3学年及び第4学年の内容：

地域社会の社会的事象について、六つの項目から構成

- ① 身近な地域や市の地形，土地利用，公共施設などの様子
- ② 地域の生産や販売に携わっている人々の働き
- ③ 地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るための諸活動
- ④ 地域の人々の安全を守るための諸活動
- ⑤ 地域の古い道具，文化財や年中行事，地域の発展に尽くした先人の具体的事例
- ⑥ 県の地形や産業，県内の特色ある地域

*自分たちの住んでいる地域の社会生活を総合的に理解できるようにするとともに，地域社会の一員としての自覚をもち，地域社会に対する誇りと愛情を育てる

*各学校においては，地域の実態を踏まえ，2年間を見通して，それぞれの学年でどの内容を取り上げ，どのように配列するのかを工夫することが大切である

(4) 第5学年の内容：

我が国の国土や産業にかかわって，四つの項目から構成

- ① 我が国の国土の様子と国民生活との関連
- ② 我が国の農業や水産業（食料生産）の様子と国民生活との関連
- ③ 我が国の工業の様子と国民生活との関連
- ④ 我が国の情報産業などの様子と国民生活との関連

*①の内容は，国土の地理的環境の理解に関する内容であり，②から④の各内容は，我が国の主な産業の様子や，それらと国民生活との関連を理解する内容

*我が国の国土と産業の様子や特色を総合的に理解できるようにするとともに，国土の環境保全や自然災害の防止の重要性，我が国の産業の発展と社会の情報化の進展についての関心と国土に対する愛情を育てる

(ウ) 第6学年の内容：

我が国の歴史，政治及び国際理解の三つの項目から構成

- ① 我が国の歴史上の主な事象
- ② 我が国の政治の働き，日本国憲法の考え方
- ③ 我が国とつながりの深い国の人々の生活の様子，国際社会における我が国の役割

*我が国の歴史や政治の働き，我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割について理解できるようにする

*我が国の歴史や伝統を大切にし国を愛する心情や，平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていこうとする自覚を育てる

(2) 各学年の目標及び内容

ア 第3学年及び第4学年

(7) 目標

(1) 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員としての自覚をもつようにする。

ねらい：・自分たちの住んでいる地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動について理解できるようにすること

・地域社会の一員としての自覚をもつようにすること

* 第3学年及び第4学年の内容の(2)、(3)、(4)及び(6)の一部にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「地域の産業や消費生活の様子」

・地域の人々の生産活動や販売活動の様子には特色があること

・県内には特色ある産業があること

を理解できるようにすること

「人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動」

・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るために関係機関と地域の人々が互いに協力していること

・関係機関に従事している人々や地域の人々が様々な工夫や努力をしていること

・それらの諸活動は地域の人々の健康で安全な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていること

を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「地域社会の一員としての自覚をもつようにする」

・児童一人一人が地域社会の一員であるという意識

・地域の人々の健康な生活や良好な生活環境、安全な社会を実現していくために共に努力し、協力しようとする意識

を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

・内容の(2)、(3)、(4)及び(6)の一部の指導を通して

・地域社会の人々は様々な工夫や努力、協力をしていること

・人々の健康で安全な生活や良好な生活環境の維持と向上が図られていること

を理解できるようにする

・地域社会の一員としての自覚を育てるようにする

ことが大切である

(2) 地域の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし，地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

ねらい：・自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）や県の地理的環境，人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにすること
・地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすること

* 第3学年及び第4学年の内容の(1)，(5)及び(6)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「地域の地理的環境」

- ・身近な地域や市の様子は場所によって違いがあること
- ・県の地理的位置や地形の様子
- ・県内には自然環境を保護・活用している地域が見られることを理解できるようにすること

「人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働き」

- ・地域の人々の生活の様子が大きく変化してきたこと
- ・地域の人々が伝統や文化を保護・活用し，大切に守り受け継いでいること
- ・地域の発展に尽くした先人の働きや苦心を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする」

- ・現在及び過去の地域の人々の工夫や努力によって生み出された，地域社会の特色やよさへの理解に基づいて，自分たちの住んでいる地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

- ・内容の(1)，(5)及び(6)の指導を通して
 - ・地域社会の特色が現在及び過去の人々の働きによって生み出されていることを理解できるようにする
 - ・地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにすることが大切である

(3) 地域における社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力，調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

ねらい：自分たちの住んでいる身近な地域や市（町），県の学習を通して，社会的事象を観察，調査するとともに，地図や各種の具体的資料を効果的に活用し，

- ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力
- ・調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすること

* 第3学年及び第4学年の内容全体にかかわる能力に関する目標

「地域における社会的事象を観察，調査する」

- ・地域の地理的環境や人々の社会生活の様子を具体的にとらえたり，その特色や相互の関連などについて考えたりするために，地域における社会的事象を自分の目でよく見たり調べたりすること

例) ・ありのままに観察する

- ・数や量に着目して調査する
- ・観点に基づいて観察，調査する
- ・他の事象と対比しながら観察，調査する
- ・まわりの諸条件と関連付けて観察，調査する

「地図や各種の具体的資料を効果的に活用」する

- ・地域の人々の社会生活の様子をとらえたり，その特色や相互の関連などについて考えたりするために，地図（以下，絵地図を含む）や各種の具体的資料を効果的に活用すること

例) ・資料から必要な情報を読み取る

- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる
- ・必要な資料を収集する

「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力」を育てる

- ・自分たちの住んでいる市と県内の他地域との比較などによって人々の生活の特色
- ・地域の人々の生活と自然環境，伝統や文化などとの関連，願いを実現していく地域の人々の工夫や努力，協力と生活や生活環境の維持と向上との関連，地域の人々の生活や産業と国内の他地域や外国との結び付き

などについて考える力を育てるようにすること

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てる

- ・地域における社会的事象を観察，調査したり，地図や各種の具体的資料を効果的に活用したりして調べたこと
- ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを表現する力を育てるようにすること

* この目標を実現するために：

- ・第3学年及び第4学年の内容全体の指導を通して，
 - ・自分たちの住んでいる身近な地域や市，県の社会的事象を，学習問題に即して意欲的に観察，調査したり，地図や各種の具体的資料を活用したりして調べることができるようにすることが必要がある
 - ・調べたことや地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたことを相手にも分かるように表現することができるようにすることが大切である

* 能力に関する目標について：

- ・第3学年及び第4学年の2年間で目標を実現するという趣旨に基づき，児童の発達の段階や学習経験に応じて，系統的，段階的に育てていくことが大切である

(イ) 内容

(1) 自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）について、次のことを観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする。

(内容の取扱い)

(1) 内容の(1)については、方位や主な地図記号について扱うものとする。

自分たちの住んでいる身近な地域や市（町）

・自分たちが通う学校の周りの地域や自分たちの住んでいる市（町）を指している

身近な地域

・地形の様子、土地の使われ方、市街地の広がり、主な公共施設のある場所など、児童が直接、観察できる範囲である

*学校の周りの地域の様子を調べ、それに続けて市といった行政的な範囲に広げていくようにする

*市の範囲や広がりをとらえさせることは、生活舞台である地域社会の生産や販売、健康な生活や良好な生活環境及び安全を守るための諸活動それぞれにおける他地域との結び付きや協力の様子を理解する上で基礎となる

◇観察、調査したり白地図にまとめたりして調べる

・身近な地域の様子については、児童の発達の段階や学習経験を十分に考慮して、社会的事象を観察したり、聞き取りなどの調査を行ったりして、その結果を絵地図や地図記号を使った平面地図にまとめる活動を行うようにする

・市の様子については、市の特色ある地形や土地利用などが見られる場所の地図や写真などを活用して調べ、白地図に書き表す活動が考えられる

◎地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにする

・観察、調査したり、白地図にまとめたりしたことをもとにして、身近な地域や市の様子は、場所によって違いがあることを具体的に考える

場所による違い

例) ・土地の高低や海岸沿いなど地形的な条件

・駅前、大きな道路に面したところ、新興住宅地など社会的な条件

ア 身近な地域や市（町）の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

主な学習内容

小1,2生活(3),(4) →

・自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかわっていることが分かり、それらに親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする

・公共物や公共施設を利用し、身の回りにはみんなで使うものがあることやそれを支えている人々がいることなどが分かり、それらを大切にし、安全に気を付けて正しく利用することができるようにする

「身近な地域や市（町）の特色ある地形」を調べる

例) 土地の低いところや高いところ、広々と開けた土地や山々に囲まれた土地、川の流れているところや海辺に面したところなど

「土地利用の様子」を調べる

・身近な地域や市で生活している人々がその地域の土地をどのように利用しているのかを具体的に調べ、白地図に書き表す

例) 田や畑の広がり、住宅や商店、工場の分布など

*特色ある地形や交通などと結びつけて、土地の利用は地形的な条件や社会的な条件ともかかわりがあることを気付くようにする

「主な公共施設などの場所と働き」を調べる

・主な公共施設などの名称と位置、働きなど

例) ・市役所や町役場、学校、公園、公民館、図書館、児童館、体育館、美術館、博物館、郷土資料館、文化会館、消防署、警察署、裁判所、検察庁などの公共施設

・駅、病院、福祉施設、デパート、スーパーマーケット、銀行など多くの市民が利用している施設

「交通の様子」を調べる

・主な道路や鉄道などの名称や主な経路など

例) ・身近な駅やバス停とその周りの様子を観察、調査したり電車やバスなどの路線図や時刻表を手掛かりにしたりして、自分たちの住んでいる市と近隣の市との結び付きに気付くようにする

・主な道路と市内の工場の分布、主な駅と商店の分布など、土地利用の様子を交通の様子と関連付けて考え、相互のかかわりに気付くようにする

→小3,4社会(4)

・地域社会における災害及び事故から人々の安全を守る工夫について

「古くから残る建造物」を調べる

- ・古くから残る建造物の位置や昔の様子、いわれなど
例)・神社, 寺院, 伝統的な家屋など
- ・地域の特色に応じて門前町, 城下町, 宿場町などの伝統的な家並

◇観察・調査・聞き取り調査・白地図へのまとめ

- ・身近な地域や市全体の地理的環境についての理解を深める
例)・市全体を表す地図を用いて自分たちの学校や学校のある地域が市の中のあたりにあるのかを確かめその位置を言い表す活動
- ・身近な地域と市全体の地形や土地利用の特徴を比べたり類似点や相違点を整理したりする活動
- ・観察, 調査したり地図などを活用したり, 聞き取り調査を行ったりして具体的に調べ, 絵地図や地図記号を使った平面地図にまとめる活動
- ・市の特色ある地形や土地利用などが見られる場所の地図や写真などを活用して調べ, 白地図に書き表す活動
- *身近な地域の絵地図から, 市(町)全体の平面地図へ無理なく移行するよう配慮する
例)・屋上や小高い山など高いところから身近な地域の景観を展望, 観察
- ・市の鳥瞰図や立体地図, 空中(航空)写真などを活用

◎地域の様子は場所によって違いがあることを考えることができるようにする

*方位や主な地図記号を理解し活用できるようにすること

- 方位** : 児童の実態などを考慮に入れ, 最初に四方位を取り上げ, 八方位については, ここでの学習も含めて第4学年修了までに身に付ける
- 地図記号** : 身近な地域の様子を地図に表したり, 地図から市の様子を読み取ったりする際に必要なものを扱う
- 具体的には取り上げた公共施設などとの関連に留意して
- 建物・施設** : 学校, 警察署, 消防署, 工場, 神社, 寺院, 市役所, 町役場など
- 土地利用** : 田, 畑, 果樹園など
- 交通** : 鉄道, 駅, 道路

→小3, 4社会(6)

- ・県の様子について, 県内における自分たちの市(町)の地理的位置

→中地理(2)エ

- ・身近な地域の調査

→小3, 4社会(6)

- ・県の様子について, …資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ, 県の特色を考えるようにする

学習の手立ての例

- ・学区の様子について, 学区探検や屋上など高いところから町を観察して, 白地図に書き表したり, 絵地図を作ったりする
- ・古くから残る建造物については昔の様子やいわれを家の方や地域の方などに, 公共施設の働きについては働いている方などに聞き取り調査をする
- ・身近な地域の建物を学校を基準に, 四方位や八方位を使って表す
- ・学区探検に出たり, 白地図を作成したりすることで, どんなところ(土地の低いところ, 駅前など)にどんな施設があるか, どんなことに使われているか, 交通網と工場・店舗・住宅街との関連など調べたことに関わり合いに気付かせる
- ・同じ農作地でも, 田の広がる場所と茶畑の広がる場所の違い(地形的条件)は何かを考えたり, 古い住宅地と新興住宅地の町並みの違いを学区探検で確認したりする
- ・最初は学校周辺, さらに市(町)へと対象を広げ, 土地利用などを比較して共通点・相違点・関連性を考える

🔗製紙工場, 輸送機器関連工場, 家電工場や, ミカン, 茶, わさび, メロン栽培など静岡の特徴ある産業に関連した施設や土地利用を取り上げる

(2) 地域の人々の生産や販売について、次のことを見学したり調査したりして調べ、それらの仕事に携わっている人々の工夫を考えるようにする。

地域の人々の生産や販売

- ・身近な地域や市（町）の人々の農作物や工業製品などの生産に関する仕事や販売に関する仕事
地域の人々の生産に関する仕事：農作物や工業製品をつくる仕事
木を育てる仕事、魚や貝などを採ったり育てたりする仕事

◎それらの仕事に携わっている人々の工夫を考える

- ・農作物や工業製品などの生産に関する仕事や販売に関する仕事に携わっている人々が、それぞれの仕事の特徴に応じて、他地域などのかかわりをもちながら、様々な工夫をしていることを具体的に考える

ア 地域には生産や販売に関する仕事があり、それらは自分たちの生活を支えていること。

主な学習内容

「地域には生産や販売に関する仕事があること」を調べる

- ・身近な地域や市の人々の生産や販売に関する仕事の種類や分布を取り上げ、身近な地域や市には生産や販売に関する様々な仕事があることを具体的に調べる
- ・生産に関する仕事：
例) ・米や野菜、果物などを作る農家の仕事
・物をつくる工場の仕事
- ・販売に関する仕事：
例) 近所の小売店、スーパーマーケット、コンビニエンスストア、デパート、移動販売など、日常生活に必要な商品を販売する仕事

→中地理(2)エ
・身近な地域の調査

「それらは自分たちの生活を支えていること」を調べる

- ・地域の生産や販売に関する仕事と自分たちの生活とのかかわりについて取り上げ、自分たちの住んでいる身近な地域や市の人々の生産や販売に関する仕事は自分たちの生活を支えていることなどを具体的に調べる
- ・生産に関する仕事：
例) ・自分たちの市の産業として地域に根ざしていること
・地域で生産されている物が自分たちの生活に使われていること
・地域の商店などから自分たちの生活に必要なものを購入したサービスを受けたりしていること
・工場などが地域の人々の働く場所になっていること
*販売の仕事と自分たちの生活とのかかわりを調べる学習においては、個人のプライバシーに十分配慮する

→小5社会(2)(3)
・我が国の農業や水産業の役割、自然環境とのかかわり
・我が国の工業生産の役割

◇見学や調査、作業的な活動

- 例) ・市内の農家や工場、商店などの分布について調査したり、資料を活用したりして白地図にまとめる
- ・農家や工場、商店の仕事の様子を観察したり仕事に携わっている人から話を聞いたりする活動を通して、生産や販売の仕事の工夫と自分たちの生活とのかかわりについて気付く

◎地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考える手掛かりにする

学習の手立ての例

- ・地域の農産物別の生産量や工場数などを調べ、白地図や絵グラフなどに表現する
- ・家庭では、どのような商店で、どのような商品を購入しているか調査し、表にまとめる

イ 地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

(内容の取扱い)

(2) 内容の(2)のイについては、次のとおり取り扱うものとする。

- ア 「生産」については、農家、工場などの中から選択して取り上げること。
- イ 「販売」については、商店を取り上げ、販売者の側の工夫を消費者の側の工夫と関連付けて扱うようにすること。
- ウ 「国内の他地域など」については、外国とのかかわりにも気付くよう配慮すること。

主な学習内容

「地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色」を調べる

* 生産については農家や工場などの中から選択して、販売については商店の仕事をそれぞれ取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に展開できるようにする

・ 地域の人々の生産活動や販売の仕事に見られる工夫を取り上げ、それぞれの仕事の特色を具体的に調べる

・ **農家の仕事：**

例) 地形や気候など自然条件とのかかわり、施設・設備、働く人の仕事の進め方、生産物の販売などに見られる仕事の工夫

・ **工場の仕事：**

例) 原材料の仕入、生産のおよその工程、働く人の服装や仕事の進め方、製品の販売などに見られる仕事の工夫

* 地域の生産活動については、農家の仕事、工場の仕事、木を育てる仕事、魚や貝などを採ったり育てたりする仕事などの中から一つを取り上げる

・ **商店などの販売の仕事：**

例) 商品の品質管理、売り場での並べ方や値段の付け方、宣伝の方法などに見られる仕事の工夫

* 販売者の側の工夫と関連付けて消費者の側の工夫を取り上げる

例) 消費者の信頼を損なうことなく売上げを高めるための販売者の工夫は、商品の品質や価格などを考えて店や商品を選んで購入している消費者の工夫にも結びついていること

「国内の他地域などのかかわり」を調べる

・ 原材料や商品の仕入、生産物の出荷、働く人の通勤圏などに見られる国内の他地域などのかかわりを取り上げ、地域の人々の生産や販売の仕事が様々な面で国内の他地域などのかかわりをもっていることを具体的に調べる

・ **人によるかかわり：**

例) 地域の工場で働く人や商店に買い物に来る人が、自分たちの市以外のところに住んでいる場合がある

・ **物によるかかわり：**

例) 自分たちの市の生産物が他の市へ出荷されたり、工場の原材料や商店の商品が他の市で生産されている

* 結び付きの見られる県や国の名称と位置を地図などで確かめる活動を行い、生産や販売を通して自分たちの地域が県内だけでなく国内の他地域や外国ともかかわりがあることに気付くよう配慮して指導する必要がある

◎地域の生産や販売の仕事に携わっている人々の工夫を考えることができるようにする

小1,2生活(7) →

- ・ 動物を飼ったり植物を育てたりして、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心を持ち、また、それらは生命をもっていることや成長していることに気付き、生き物への親しみをもち、大切にすることができるようにする

→小5社会(2)ウ(3)ウ

- ・ 食料生産に従事している人々の工夫や努力
- ・ 工業生産に従事している人々の工夫や努力

→中公民(2)

- ・ 身近な消費生活を中心に経済活動の意義を理解
- ・ 消費者の保護

→小3,4社会(6)エ

- ・ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

→小3,4社会(6)ア

- ・ 47都道府県の名称と位置

→小5社会(1)ア

- ・ 主な国の名称と位置

→中地理(1)ア(2)ア

- ・ 世界の地域構成
- ・ 日本の地域構成

学習の手立ての例

- ・ 地元の農家や工場を見学し、生産上の工夫を調べる
- ・ 商店を見学し品質管理や集客の工夫を調べるとともに、タイムサービスの利用など消費者の工夫も調べる
- ・ 生産物がどこに出荷されているか、労働者がどこに住んでいるのか、原材料や商品がどこから集まっているのか、消費者がどの地域からどんな方法で買いに来るか調べ、白地図に表現する
- ・ スーパーマーケット、コンビニエンスストア、個人商店の比較をする

★輸出入している原材料や商品と、その相手国について地図に表現する

🏭工場で働く外国人労働者の人数や出身国を調べる

🏠あすなる学習室の「お店探検にレッツゴー」を使い、調べ学習を行う

(3) 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする。

(内容の取扱い)

(3) 内容の(3)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 「飲料水、電気、ガス」については、それらの中から選択して取り上げ、節水や節電などの資源の有効な利用についても扱うこと。

イ 「廃棄物の処理」については、ごみ、下水のいずれかを選択して取り上げ、廃棄物を資源として活用していることについても扱うこと。

(5) 内容の(3)及び(4)にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする。

地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理

・地域社会の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上を図る上で欠かすことのできない対策や事業

飲料水の確保：水源を確保するための対策や水源地から各家庭や工場などに供給されるまでの事業

電気の確保：発電に必要なエネルギー源を確保するための対策や発電所から各家庭や工場などに送電されるまでの事業

ガスの確保：原料の確保や保安にかかわる対策やガスを製造する工場から各家庭や工場などに供給されるまでの事業

ごみや下水な

どの廃棄物：その処理にかかわる対策や事業

*家庭や学校、公共施設、会社や工場などで取り組んでいる節水や節電のための工夫や努力を取り上げ、

・飲料水や電気をつくるために必要な資源には限りがあること

・飲料水や電気、ガスなどの無駄な使い方を見直し有効に利用すること

が大切であることに気付くようにする

*資源・エネルギー問題に対する関心をもち、自らも節水や節電に協力しようとする態度を育てるように配慮する

*ペットボトルやアルミ缶などの資源ごみを分別収集し、資源として再利用したり、下水を処理浄化して再利用したりするなど、廃棄物を資源として活用していることについて取り上げ、資源ごみを回収して有効に活用することや再生された製品を利用することの大切さに気付くようにする

これらの指導を通して、地域の環境保全に対する意識を高め、自らも廃棄物の適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てるように配慮する

◇見学、調査したり、資料を活用したりして調べる

・ダムや貯水池、浄水場、発電所、ガスの製造工場、清掃工場、下水処理場などの施設を見学したり、そこで働く人々から聞き取り調査したりする活動

◎これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

・飲料水、電気、ガスについては、それらの安定供給を図るために、

・廃棄物の処理については、それらを衛生的に処理するために、

・それぞれ様々な対策や事業が広く他地域の人々の協力を得ながら計画的に進められていること

・そのことによって地域の人々が住みよい環境の中で健康な生活を営むことができること

を考えるようにすること

ア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり

主な学習内容

「飲料水、電気、ガスの確保」と「自分たちの生活や産業とのかかわり」を調べる

*飲料水、電気、ガスのいずれかを取り上げる

・人々の生活や産業に欠かすことのできない飲料水、電気、ガスがいつでも使えるように必要な量が確保されていることを具体的に調べる

・**飲料水**：・炊事、洗濯、風呂などの家庭生活や商店、工場などの産業、学校など様々な場面で使われ、市全体では大量に使用されていること

・必要な量がいつでも使えるように確保されていること

- ・電気, ガス: ・生活や産業に欠かすことができないものであること
 ・必要な量がいつでも使えるように確保されていること
 などを取り上げることが考えられる

「廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり」を調べる

*ごみ, 下水のいずれかを取り上げる

- ・廃棄物の処理にかかわる対策や事業が地域の人々の健康な生活や良好な生活環境を守るために欠かすことができないことを具体的に調べる

→小5社会(1)ウ
 ・公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ
 →小6社会(2)
 ・我が国の政治の働き

◇見学や調査, 資料の活用

対象: 飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり

例) ・家庭や学校など身近な生活における使われ方や使用量とその変化などを調べる

- ・廃棄物の行方を調査する
- ・処理場に集められる廃棄物の量やその変化などを調べる

*家庭における飲料水の使われ方や廃棄物の処理の仕方などを取り上げる際には, 個人のプライバシーに十分配慮する

◎飲料水, 電気, ガスの確保や廃棄物の処理にかかわる対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・飲料水, 電気, ガスのいずれかを取り上げ, 家庭や学校でどのような使われ方をしているか, またその使用量はどのくらいか, 使用量の変化を調べ, 絵グラフなどに表現する
 - ・清掃工場や下水処理場を見学して, 廃棄物や下水の処理方法・量やその変化, 資源の再利用などを調べる
 - ・校内の水道にかかわりのある設備を調べ, 絵や図に表現する
 - ・飲料水や電気, ガスなどが家庭や学校, 工場などに供給されるまでの経路を, 絵や図に表現する
 - ・地域で行っているごみ収集の仕方を, パンフレットや集積所の看板などを使って調査する
- △あすなろ学習室の「水はどこから」(天竜川・大井川・柿田川)を使い, 調べ学習を行う

イ これらの対策や事業は計画的, 協力的に進められていること。

主な学習内容

「これらの対策や事業は計画的, 協力的に進められていること」を調べる

- ・これらの対策や事業が計画的に, 広く他地域の人々の協力を得ながら進められていることを具体的に調べる

・飲料水, 電気, ガス:

- ・生活や産業に必要な量を常に確保し安定供給を図るための対策や事業を取り上げる

・飲料水の確保: 需要の増加に対して

- ・水源を確保・維持するために森林が保全されていること
 - ・ダムや浄水場などの建設が計画的に進められていること
 - ・他の市や県の人々の協力を得ながら行われていること
 - ・地域の人々も節水や水の再利用などに協力していること
- などを取り上げる

→小5社会(1)エ
 ・国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

・電気の確保: 需要の増加に対して

- ・主として火力, 原子力, 水力の発電所から送り出される電気によって安定供給が図られていること
 - ・燃料や水資源の確保のための対策や発電所から消費地までに送電されるまでの事業が計画的に進められている
 - ・地域の人々が節電や太陽エネルギーの利用に努めるなどの工夫や協力をしていること
- などを取り上げる

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

*火力発電の燃料である液化天然ガスや重油, 原子力発電の燃料であるウランなどを外国から輸入していること

*火力発電所や原子力発電所においては環境に配慮していること
や安全性の確保に努めていること
について取り上げる

・ガスの確保：

- ・原料の液化天然ガスなどを外国から輸入していること
- ・安全確保に努めていること

などを取り上げる

*節水や節電などの資源の有効な利用について扱い、資源・エネルギー問題に対する関心をもち、自らも節水や節電に協力しようとする態度を育てるように配慮する

・廃棄物の処理：

- ・健康な生活や良好な生活環境を維持するための対策や事業を取り上げる

- ・増え続ける廃棄物の処理にかかわる対策や事業として

- ・廃棄物の処理の仕方の工夫
- ・廃棄物を資源として活用する取組
- ・最終処分場の確保にかかわる計画的、協力的な取組

などを取り上げる

*地域の人々はもとより広く他の市（町）や県の協力を得ながら進められていることにも触れる

*廃棄物を資源として活用していることについても取り上げ、地域の環境保全に対する意識を高め、自らも廃棄物の適切な処理や再利用などに協力しようとする態度を育てるように配慮する

→小5 社会 (1)ウ

- ・公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

→小6 社会 (2)ア

- ・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

◇見学・調査・資料の活用

対象：対策や事業は計画的、協力的に進められていること

◎飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理にかかわる対策や事業は、地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・浄水場や発電所などの施設の見学をして、飲料水、電気、ガスなどを供給する仕事に携わっている方から消費地に供給されるまでの対策や事業について聞き取り調査を行う
- ・市役所や町役場、廃棄物処理施設の方から処理にかかわる話を聞くことで、資源の有効利用の具体的な取組やその必要性などを考える
- ・飲料水・電気・ガスは生活を支える有限な資源という視点から、家庭での節水や節電などの実践的な活動を調べ、自分にもできることを考えたり、ポスターなどを作ったりする
- ・ごみの出し方や集積所、資源の再利用や生活排水に関する地域や市町のきまりを調べて、何のためにそれらがあるかを考える

★自分たちの自治体の廃棄物処理の仕方を他の自治体のやり方と比較する

★飲料水・電気・ガスのうち、授業で取り扱わなかった事例を調査する

★電気やガスを供給するために日本が原料を輸入している国を調べ、地図に表現する

(4) 地域社会における災害及び事故の防止について、次のことを見学、調査したり資料を活用したりして調べ、人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えるようにする。

(内容の取扱い)

- (4) 内容の(4)の「災害」については、火災、風水害、地震などの中から選択して取り上げ、「事故の防止」については、交通事故などの事故防止や防犯を取り上げるものとする。
- (5) 内容の(3)及び(4)にかかわって、地域の社会生活を営む上で大切な法やきまりについて扱うものとする。

地域社会における災害及び事故の防止

- ・地域の消防署や警察署などの関係機関に従事する人々が相互に連携し、地域の人々と協力して、災害や事故から人々の安全を守る工夫や努力をしていること

災害や事故：・地域の人々の生命や財産を脅かす火災、風水害、地震などの災害
・交通事故と犯罪の事故や事件

*これらの災害や事故から人々の安全を守ることは、地域社会での安全な生活を保障するものであり、地域住民の強い願いに基づくものである

◇見学、調査したり資料を活用したりして調べる

対象：消防署や警察署などの関係機関を見学したり調査したりして具体的に調べる

◎人々の安全を守るための関係機関の働きを考える

- ・消防署や警察署、市役所などの関係機関が、各部署の役割を生かし、平素から災害や事故の防止に努めるとともに、火災、交通事故、犯罪など緊急事態が発生した時には一刻を争って事態に対処していることを手掛かりにして、人々の安全を守るためには関係機関がどのような働きをしているのかを具体的に考える

◎そこに従事している人々の工夫や努力を考えるようにする

- ・災害や事故が発生した時には近隣の消防署や警察署に連絡し協力を得ていることはもとより、市役所や町役場病院、放送局が協力していることや、消防団や水防団など地域の人々が組織する諸団体が緊急事態に対処していることなど、関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を具体的に考える

ア 関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること。

主な学習内容

小3・4社会(1)ア →
・身近な地域や市(町)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「関係機関は地域の人々と協力して、災害や事故の防止に努めていること」を調べる

- ・災害の防止と事故の防止の事例をいずれも取り上げ、消防署や警察署などの関係機関が地域の人々と協力して、災害や事故による被害を未然に防ぐ努力をしていることを具体的に調べる

例) ・災害や事故に備えるための機関や施設・設備などの位置や分布、働きなどを調査する

- ・消防署や警察署、市役所や町役場の職員から聞き取り調査する

- ・地域の防災や防犯に協力している人や消防団の仕事に従事している人から話を聞いたり、それらの活動の様子を視聴覚資料で調べたりする

*災害の防止と事故の防止の事例をいずれも取り上げる

*災害については、火災、風水害、地震などの中から一つを選択

・災害の防止：

・火災：

- ・消防署を中心に、警察署、市役所や町役場、病院、放送局、学校、電気・ガス・水を供給している機関などが普段から施設・設備の整備や点検、訓練、広報活動などに取り組み、火災の予防や発生時に対する備えをしていること

- ・地域の人々が消防署への火災通報、避難訓練の実施、地域の消防団による防火を呼びかける活動などの火災予防に協力していること

→小6社会(2)ア

- ・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

- ・風水害：
 - ・国や県の働きや近隣の市（町）の協力により、がけ崩れの防止や河川改修、水防倉庫の設置、避難場所の確保など、風水害を未然に防ぐ努力をしていること
 - ・避難訓練の実施、地域の水防団による危険箇所の見回りや点検など、地域の住民が風水害防止に協力していること
- ・地震：
 - ・国と県と市の協力による地震情報の提供、緊急避難場所の指定や備蓄倉庫の設置
 - ・地震の発生を想定した緊急時の連絡体制などの整備、及び救助計画、避難訓練などへの地域の人々の協力と参加
 - * 地域の実態や児童の生活経験、関心などを踏まえて、火災、風水害、地震などの中から一つを選択して取り上げる
- ・事故の防止：
 - ・警察署が中心となって、消防署、市役所や町役場、病院、放送局、地域の町内会や自治会、PTAその他関係の諸団体が協力、連携して交通安全運動や防犯活動を展開していること
 - ・PTAによる地域巡回、「子ども110番の家」など、地域の人々が事故防止や防犯に協力していること
 - * 地域の人々の生命、身体、財産などを守るために活動している警察の働きを理解できるようにする
 - * 法やきまりを守ることが地域の安全な生活を営む上で大切であることに気付くようにする

- 小5社会(1)エ
- ・自然災害の防止
- 中地理(2)イ(7)
- ・自然環境
- …自然災害と防災への努力を取り上げ、日本の自然環境に関する特色を大観させる
- 中地理(2)ウ(7)
- ・自然環境を中核とした考察
- …地域の自然災害に応じた防災対策が大切であることなどについて考える

◇見学や調査、資料の活用

- 例) ・災害や事故に備えるための機関や施設・設備などの位置や分布、働きなどを調査する活動
- ・消防署や警察署、市役所や町役場の職員から聞き取り調査する活動
 - ・地域の防災や防犯に協力している人や消防団の仕事に従事しているから話を聞いたり、それらの活動の様子を視聴覚資料で調べたりする活動

◎人々の安全を守るための関係機関の働きとそこに従事している人々や地域の人々の工夫や努力を考えることができるようにする

- * 地域の安全は互いに協力したり共に助け合ったりして守ること、自分も地域社会の一員として自分の安全は自分で守ること、が大切であることに気付くように配慮する

学習の手立ての例

- ・災害や事故防止のための日頃の取組、緊急事態に対する備え、災害や事故発生時の組織的な対処などについて調べる
- ・校内・学区の消火器・消火施設、消火栓やガードレール・道路標識、水防倉庫、防災用備蓄倉庫、緊急避難場所などの施設・設備の位置や働きなどを調べる
- ・災害への日頃の備えや施設、訓練の計画などについて調査したことを表や図、地図を用いて表現する
- ・火災報知器や信号機など身の回りの安全を守るための仕組みやきまりを調べる
- ・災害に備えて地震防災訓練への参加、防災グッズの準備など、各家庭でできる取組を調べる
- ・地区防災委員の方への聞き取り調査や学区の安全マップを作るなどして、自分ができる事故防止・災害防止について考える

- 📍東海地震に対する国・県・市・町の備えを調べる
- 📍静岡県地震防災センターへの見学をする

イ 関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること。

主な学習内容

小3・4社会(1)ア →
・身近な地域や市(町)の特色ある地形、土地利用の様子、主な公共施設などの場所と働き、交通の様子、古くから残る建造物など

「関係の諸機関が相互に連携して、緊急に対処する体制をとっていること」を調べる

*災害と事故の事例をいずれも取り上げる

・災害について：

火 災：その発生時において、関係の諸機関が相互に連携して消火や救助に当たるなど、一刻を争って事態に対処していること

風水害：その発生時において、関係の諸機関が相互に連絡を取り合い、地域の人々を安全に避難させるために活動していること

地震：その発生時において、関係の諸機関が相互に連携して、地震情報の提供、被災者への救援や救助、緊急避難場の設営などを行い、地域の人々の生命を守り、安全を確保するために活動していること

事故：事故や犯罪の発生時において、警察署が中心となり、関係の諸機関と連携して、事故や事件の処理・捜査に当たっていること

→小5社会(1)エ
・自然災害の防止

→中地理(2)イ(7)

・自然環境

→中地理(2)ウ(7)

・自然環境を中核とした考察

→小6社会(2)ア

・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

◇見学・調査・資料の活用

例)・消防署、警察や交番などを見学し、そこに従事している人から話を聞いて調べる

・災害発生時の一刻を争う対処の様子を視聴覚資料を活用したり資料を収集したりして調べる

◎地域の人々の安全を守るための関係機関の働きと、そこに従事している人々の工夫や努力を考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・地域の消防署・警察署を見学し、そこにある様々な施設・設備を観察して、そこで働く方々から聞き取り調査を行う
 - ・交通事故や火災が起きた時、警察や消防署が一刻も早く現場に行くための工夫や努力を考える
 - ・交通事故や火災が起きた時、警察や消防署がどんな対処をするのかを調べることで、緊急時には多くの関係機関が協力していることを図にまとめる
 - ・災害が起きた時、関係機関がどんな対処をするのかを調べる
- 📍あすなる学習室の「静岡県の警察」を使い、調べ学習を行う

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

地域の人々の生活

- ・自分たちの祖先や地域の発展に尽くした先人の働きの上に成り立っている地域の人々の生活の様子
- ・歴史的背景に目を向け、「地域の人々の生活」の移り変わりについて学習する

◇見学や調査、聞き取り調査、まとめ

- ・博物館や郷土資料館などを見学し、道具を観察したり、それらの道具が使われていたころの生活の様子、古くから伝わる文化財や年中行事の内容やいわれなどを聞き取ったりすること
- ・調べたことを時間の経過に沿って整理し、今昔の違いや移り変わりの様子をまとめたりすること

◎人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考える

- ・「人々の生活の変化」を考える：
昔の道具やそれらを使っていたころの暮らしの様子を調べることによって、地域の人々の生活の今昔の違いや変化、過去の生活における人々の生活の知恵を考える
 - ・「人々の願い」を考える：
地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事には、地域の発展やまとまりなどへの人々の願いが込められていることなどを考え、人々の生き方に触れるようにする
 - ・「地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心」を考える：
開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人を取り上げ、それらの先人の働きや苦心が地域の人々の生活の向上に大きな影響を及ぼしたことを具体的に考える
- * 地域社会に対する誇りと愛情を育てることにつながるものである

ア 古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

主な学習内容

「古くから残る暮らしにかかわる道具」を調べる

- ・現在も残っている暮らしに使われた昔の道具を取り上げ、道具の様子やそれらの使い方などを具体的に調べる
- * ここで取り上げる道具は、日常生活と密着した道具が適当である
例) 暖房に使われてきた道具
いろり、火鉢、こたつ、ストーブ、エアコンなどいろいろに変化してきている
- * 道具そのものの変遷を学習することで終わることなく、それに伴って、地域の人々の生活がどのように変化してきたのかを考える
- * 調べる対象や事例が身近な地域に見られる場合には、市(町)を中心とした地域の範囲とすることができる

「それらを使っていたころの人々の暮らしの様子」を調べる

- ・古くから残る暮らしにかかわる道具を使っていたころの人々の暮らしの様子を取り上げ、地域の人々の生活が変わってきたことを具体的に調べる
- * 取り扱う時期：地域の高齢者が子どものころ
父母が子どものころ
現在の時期
- ・高齢者や父母から、古い道具を通して子供のころの暮らしの様子を聞き取り、それらと現在の自分たちの生活の様子を比べながら、地域の人々の生活が変化してきたことを考える
- ・現在の自分たちの生活は祖先の努力の上に成り立っているという、歴史的背景に関心をもつようにする

→小6社会(1)

- ・…歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする

◇見学・調査

*社会科を学習する児童にとって初めての歴史的な内容であることに配慮し、見学や体験を取り入れるなど、学習を具体的に展開できるようにする

- 例)・地域の博物館や郷土資料館などにある昔の道具を観察する
・高齢者や父母からかつて生活に使用していた道具の使い方を教わり体験する

◎過去の生活における人々の知恵や工夫に気付いたり、地域の人々の生活の変化や人々の願いを考えたりするとともに、地域の変化や地域社会の発展を願ってきた人々の生き方に触れるようにする

→中歴史(1)イ

・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる

学習の手立ての例

- ・高齢者や父母への聞き取り調査を通して、過去と現在の生活の様子を比較する
- ・洗濯板など入手可能な道具を実際に体験し、当時の暮らしぶりを実感するとともに知恵と工夫を考える
- ・道具の変遷とそれに伴う生活の変化を、年表形式の絵や図などで表現する

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

主な学習内容

小1, 2生活(5) →
・身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに気づき、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする

「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」を調べる

- ・古くから伝わる文化財や年中行事を取り上げ、これらの内容やいわれ、地域の人々がそれらを大切に保存し継承するための取組などを具体的に調べる
- ・民俗芸能などの文化財が地域の歴史を伝えるとともに、そこにはそれらの保存に取り組んでいる人々の努力が見られること
- ・地域の人々が楽しみにしている祭りなどの年中行事には地域の生産活動や町の発展、人々のまとまりなどへの願いが見られることなどを取り上げ、生活の安定と向上に対する地域の人々の願いや保存・継承するための工夫や努力を考える

*調べる対象や事例が身近な地域に見られる場合には、市(町)を中心とした地域を範囲とすることができる

→中地理(2)ウ(カ)

・生活・文化を中核とした考察

◇見学・調査

- 例)・文化財を見学、調査する
- ・文化財や年中行事の保存・継承に携わる人から話を聞く
 - ・古くから伝統的に伝わっている行事や節句などの様子を調べる
- *実際に行事に参加したことのある児童の体験談を紹介し合う活動は、自分たちも地域の伝統や文化を受け継いでいく一人であるという意識を養い、参加意欲を高めることにもなり、地域社会の一員としての自覚を育てる

◎地域の人々の願いを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・地域に受け継がれてきた民俗芸能などの文化財や年中行事の内容などを調べ、地図や年表などにまとめる
 - ・文化財の見学・調査、地域の年中行事の保存会の方などに保存・継承のための取組を聞き取り調査し、地域の人々の願いや保存・継承のための工夫や努力を考える
 - ・地域独自の年中行事と一般的な年中行事との比較をする
 - ・地域の伝統や文化を受け継いでいくために自分は何ができるのかを考える
- 👉自治体のホームページなどから身近にある民俗芸能などの文化財を調べる

ウ 地域の発展に尽くした先人の具体的事例

(内容の取扱い)

(6) 内容の(5)のウの「具体的事例」については、開発、教育、文化、産業などの地域の発展に尽くした先人の中から選択して取り上げるものとする。

主な学習内容

「地域の発展に尽くした先人の具体的事例」を調べる

- ・開発、教育、文化、産業などの面で地域の発展に尽くした先人の具体的事例のいずれかを取り上げ、地域の発展に対する先人の願いや工夫・努力、苦心、地域の人々の生活が向上したことなどを具体的に調べる
例)・用水路を開く、藩校や私塾を設ける、新聞を発刊する、新たに産業を興すなど、地域の発展に貢献してきた人々が、強い信念をもって情熱を傾け、よりよい生活を求めて努力したことや、これらの先人の働きや苦心によって地域の人々の生活が向上したことなどを取り上げる

◇見学・調査・年表にまとめる

例)・博物館や郷土資料館などを訪ね、当時使われていた道具を調べたり実際に触れたり使ったりする活動を通して、先人の工夫や努力、当時の人々の生活の様子などを具体的に調べる

*適切な事例が身近な地域や市に見られない場合には、県内から選定することも考えられる

*先人の働きと地域の人々の生活の向上とを関連付けて考えることができる事例を選択して、その人物の業績を中心に学習できるよう配慮する

◎地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えることができるようにする

→中歴史(1)イ

・身近な地域の歴史を調べる活動を通して、地域への関心を高め、地域の具体的な事柄とのかかわりの中で我が国の歴史を理解させるとともに、受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、歴史の学び方を身に付けさせる

学習の手立ての例

- ・地域の発展に尽くした先人について、その工夫や努力を年表や地図、絵などで表現して、地域がどう変わったかをまとめる

📖 「輝く静岡県の先人」(平成21年 県文化政策課発行) 参照

(6) 県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特色を考えるようにする。

県の様子

- ・県の地形や産業などの概要とそこに見られる人々の生活の様子

◇資料を活用したり白地図にまとめたりして調べる

- ・作業的な学習を取り入れたり実物を活用したりして、学習が具体的に展開できるようにする
例) ・県の地図や地図帳、収集した各種の資料などを活用し、調べたことを白地図にまとめる
・県内で生産された農作物や製品の実物などを活用する

◎県の特色を考えるようにする

- ・県の地形や産業などの概要や分布などに見られる特色
- ・地域の自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域やそこで生活している人々の生活に見られる特色やよさを具体的に考える

◎静岡県に対する誇りと愛情をもつようにする

ア 県内における自分たちの市(町)及び我が国における自分たちの県の地理的位置、47都道府県の名称と位置

主な学習内容

小3, 4社会(1) →
・自分たちの住んでいる身近な地域や市(町)について、…観察、調査したり白地図にまとめたりして調べ、地域の様子は場所によって違いがあることを考えるようにする

「県内における自分たちの市(町)及び我が国における自分たちの県の地理的位置」を調べる

- ・県内における自分たちの市(町)の位置
国内における自分たちの県の位置を取り上げて調べる
- ・隣接する市や県との位置関係や日本全体から見た位置などについて、方位などを用いて言い表す
例) 「わたしたちの市は、A市やB市と隣り合っている」
「わたしたちの市は、県のほぼ中央にある」
「わたしたちの市は、県庁のあるC市のほぼ北の方角にある」
「わたしたちの県は、D県やE県、F県に囲まれている」
「わたしたちの県は、日本全体から見ると南の方にある」
*その際、地図に掲載されている距離を表す目盛りを用いて二つの地点間の距離を求める方法があることについて取り上げる
- ・自分たちの市や県の位置を広い視野からとらえることができるようにする

→中地理(2)ア
・日本の地域構成
…地域区分などを取り上げ、日本の地域構成を大観させる

「47都道府県の名称と位置」を調べる

- ・我が国が47の都道府県によって構成されていることが分かり、都道府県の名称と位置を一つ一つ地図帳で確かめ、日本地図(白地図)上で指摘できるようにする
- *47都道府県の名称と位置については各学年においても指導し、小学校修了までには確実に身に付け、活用できるようにする

→小5社会(1)ア
・我が国の位置と領土

◇資料の活用・白地図へのまとめ

- *県の地図や地図帳を十分に活用する
例) ・地図から自分たちの市(町)や県を見つける活動
・市(町)や県の位置を言い表す活動
・47都道府県の名称と位置を地図帳で確かめ、その名称を白地図に書き表す活動

◎自分たちの住んでいる県の位置を広い視野からとらえ、その特色を考える手掛かりとなるようにする

学習の手立ての例

- ・ 静岡県を白地図に書き込む作業を通して、他の都道府県との位置関係を四方位や八方位を使って確認する
- ・ 自分たちの住んでいる市（町）を静岡県の白地図に書き込む作業を通して、他の市や町との位置関係を四方位や八方位を使って確認する
- ・ 全国の都道府県の名称と位置を題材としたクイズを作り、お互いに出し合う
- ・ 動物を表す漢字を使っている、海に面していない、自分が行ったことのある都道府県などテーマを決めて、各都道府県の名前と位置を白地図に書き込む

あすなる学習室の「都道府県を調べてみよう」を位置と名称の確認に活用する

イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

主な学習内容

「県全体の地形や主な産業の概要」を調べる

- ・ 県全体の主な山地や平地、半島、川、湖、海などの位置や広がりの様子
 - ・ 県全体に見られる主な産業の概要や分布
- を取り上げて調べ、白地図に書き表す
- 例) 産業の概要：・全国的に見て生産量の多い産業
・その地域独自の特色ある産業 など

「交通網の様子や主な都市の位置」を調べる

- ・ 県内を通る主な道路や鉄道などの交通網
 - ・ 主な港や空港の位置
 - ・ 主な都市の位置
- を取り上げて調べ、白地図に書き表す
- 例) ・主な道路：高速道路、主な国道や県道など
・主な都市：県庁のある市や人口が集中している市
交通の要衝となっている市など

◇地図の活用・白地図の利用

- ・ 県の地図や立体地図などを活用して、主な地形や産業、道路や鉄道、都市などを調べ、白地図に書き表す活動を通して、県全体の特色をとらえる

◎自分たちの住んでいる県の地形や産業などの特色を考えることができるようにする

→小5社会(1)～(4)
・ 国土の自然などの様子、我が国の農業、水産業、工業生産、情報産業などの産業

→中地理(2)ウ
日本の諸地域

学習の手立ての例

- あすなる学習室の「静岡県」の地図帳を使い、静岡県の主な地形・産業・交通・都市を調べ、白地図に書き込み県全体の概要を表す紹介マップを作り、静岡県の特色を考える
- あすなる学習室の「静岡県」のNo.1の項目を調べ、県全体の概要を考える
- あすなる学習室の「静岡県の工業」「静岡県の農業」「静岡県の地形」「静岡県の交通」を使い、調べ学習を行う

ウ 県内の特色ある地域の人々の生活

(内容の取扱い)

- (7) ア ウについては、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げること。その際、伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めること。

主な学習内容

小3・4 社会(2) →
・地域の人々の生産
や販売

「県内の特色ある地域の人々の生活」を調べる

- ・県内の特色ある地域の人々の生活の様子を取り上げ、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域や、そこに見られる人々の生活の特色を具体的に調べる

県内の特色ある地域:

- ・伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域のほか、例えば渓谷や森林、高原や湿原、河川や海辺などの自然を守りながら、あるいは歴史ある建造物や街並み、祭りなどの地域の伝統や文化を受け継ぎ保護・活用しながら地域の人々が互いに協力して、特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域

例) 自然環境、伝統や文化、産業などから見て自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択し、比較しながら、県全体の特色をとらえることができるように配慮する

- ・伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域を含めて、自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域の中から二つ程度を選択して取り上げることが考えられる

伝統的な工業

例) 陶磁器、塗物、織物、和紙、人形、筆など、今でも優れた技術が継承されているもの

- ・自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域

例) 人々に様々な恵みをもたらしている自然の風景や歴史的な景観、文化財や年中行事、その土地の特性を生かした産物などを地域の資源として保護・活用し、地域の活性化に努めている地域

- * 特色ある地域を選定する際には学校が置かれている市の特色などを考慮する

例) 自然環境、伝統や文化、産業などから見て自分たちの住んでいる市とは異なる地域を選択し、比較しながら県全体の特色をとらえる

◇資料の活用・調査

例) ・取り上げた地域の市役所などに問い合わせたりインターネットを活用したりして県内の特色ある地域に関する資料を収集し、有効に活用する

- ・地域の伝統や文化を生かしたまちづくりに取り組んでいる地域や伝統的な工業などの地場産業の盛んな地域については、見学や調査などの体験的な活動を取り入れる

◎自分たちの住んでいる県の特色を考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・他地域の社会科副教材などを参考にして、自然環境、伝統や文化、主な産業などが自分たちの地域とは異なるという視点から特色ある地域を選ぶ

→中地理(2)ウ
・日本の諸地域
(7)自然環境を中核とした考察
(4)歴史的背景を中核とした考察

エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

(内容の取扱い)

(7) イ エについては、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

小3, 4社会(2)イ →
・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特徴及び国内の他地域などのかかわり

「人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり」を調べる

・生活や産業に見られる他地域とのかかわりを取り上げ、県内の人々の生活や産業は、県内だけでなく、広く国内の他地域や外国とも結び付いていることを具体的に調べる

例) ・姉妹都市提携を結び、外国の都市と様々な交流事業を行っていること

・船、飛行機、鉄道、自動車などの交通手段を利用して国内の他地域や外国との行き来が盛んに行われていること

・外国や他の県から観光客を招き入れていること

・農業や工業において原材料の仕入や生産物の出荷などの面で国内の他地域や外国と結び付いていること

*交通網や産業、特色ある地域の人々の生活などの学習と関連付けて取り上げる

*外国を取り上げる際、我が国や外国には国旗があることを理解させ、それを尊重する態度を育てる

*いずれの国でも国旗を大切にしていること

*我が国の国旗を尊重するとともに、外国の国旗を尊重することが大切であること

などを指導することが大切である

*取り上げた外国の名称と位置、国旗を地図帳や地球儀などで確認する

◎自分たちの住んでいる県の特徴を、より広い視野から考えることができるようにする

→小5社会(1)～(3)
・産業における、貿易や運輸の働き

→小6社会(3)ア
・我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

学習の手立ての例

📍 静岡県の各市(町)などと姉妹・友好提携を結んでいる外国の都市について地図帳や地球儀で位置や国名を調べ、世界地図に位置と国旗を表す

📍 いろいろな交通機関を通して国内外と静岡県がどのように結び付いているのかを調べる

📍 静岡県ホームページ「交流・まちづくり」の中の「国際交流」を活用して、外国の都市との姉妹・友好提携について調べる

イ 第5学年

(7) 目標

(1) 我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにし，環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにする。

ねらい：・我が国の国土の様子，国土の環境と国民生活との関連について理解できるようにすること
 ・環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにすること

*内容の(1)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「我が国の国土の様子」

- ・国民生活の舞台である我が国の国土の自然やそこに見られる生活の様子などを取り上げ，自然環境としての国土の様子や特色を，広い視野から理解できるようにすること

「国土の環境と国民生活との関連」

- ・国土の環境と国民の生活や産業との間には様々な関連が見られることを，具体的に理解できるようにすること

態度に関する目標：

「環境の保全や自然災害の防止の重要性について関心を深め，国土に対する愛情を育てるようにする」

- ・国土の環境が国民生活や産業の発展に大きな役割を果たしており，その保全や自然災害の防止に努めることが国民生活の維持と向上にとって重要であることに関心をもつようにすること
- ・我が国の国土の特色やよさを理解し，国土に対する愛情をもつようにすること

*この目標を実現するために：

- ・内容の(1)の指導を通して，
 - ・国土の環境が国民の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにするとともに，環境の保全や自然災害の防止が大切であることに気付くようにすること
 - ・我が国の国土の特色やよさ，それを生かした人々の生活，国土の環境の保全や自然災害の防止への工夫や努力を理解できるようにするとともに，国土に対する愛情を育てるようにすることが大切である

(2) 我が国の産業の様子，産業と国民生活との関連について理解できるようにし，我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする。

ねらい：・我が国の産業の様子や産業と国民生活との関連について理解できるようにすること
・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにすること

*内容の(2)から(4)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「我が国の産業の様子」

- ・農業や水産業などの食料生産にかかわる産業
 - ・工業生産にかかわる産業
- を取り上げ
- ・これらの産業の特色と貿易や運輸などの働き
 - ・産業に従事している人々の工夫や努力
- を理解できるようにすること

「産業と国民生活との関連」

- ・我が国の食料生産や工業生産にかかわる産業が国民生活を支える重要な役割を果たしていること
 - ・国土の環境と深いかかわりをもって営まれていること
 - ・我が国の情報産業が国民生活に大きな影響を及ぼしていること
- を理解できるようにすること

態度に関する目標：

「我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにする」

- ・我が国の産業がそれに従事している人々の様々な工夫や努力によって発展していること
 - ・そのことによって国民生活の維持と向上が図られていること
 - ・社会の情報化が進展していること
 - ・情報化した社会においては情報の有効な活用が大切であること
- に関心をもつようにすること

*この目標を実現するために

- ・内容の(2)から(4)の指導を通して
 - ・我が国の食料生産や工業生産に従事している人々の様々な工夫や努力によって国民生活の維持と向上が図られていること
 - ・情報産業や情報ネットワークの働きを理解できるようにする
- ・我が国の産業の発展や社会の情報化の進展に関心をもつようにすることが大切である

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

ねらい：我が国の国土や産業に関する学習を通して、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、

- ・社会的事象の意味について考える力
- ・調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすること

＊第5学年の内容全体にかかわる能力に関する目標

「社会的事象を具体的に調査する」

- ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりするために、観点や質問事項を決めて、詳しく見たり聞いたりするなどの調査を行うこと

「地図や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用」する

- ・我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりするために、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用すること

例)

- ・資料から必要な情報を読み取る
- ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる
- ・複数の資料を関連付けて読み取る
- ・必要な資料を収集したり選択したりする
- ・資料を整理したり再構成したりする

「社会的事象の意味について考える力」を育てる

- ・国土の環境保全や自然災害の防止の重要性を国民生活と結び付けて考える力
- ・我が国の農業や水産業などの食料生産にかかわる産業、工業生産にかかわる産業、情報産業が国民生活の維持と向上に役立っていることを考える力を育てるようにすること

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てる

- ・社会的事象を具体的に調査したり、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりして調べたこと
- ・社会的事象の意味について考えたことを表現する力を育てるようにすること

＊この目標を実現するために：

- ・第5学年の内容全体の指導を通して、
 - ・我が国の国土や産業に関する社会的事象について、学習問題に即して具体的に調査したり、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある
 - ・調べたことや社会的事象の意味について考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明することができるようにすることが大切である

(イ) 内容

(1) 我が国の国土の自然などの様子について、次のことを地図や地球儀、資料などを活用して調べ、国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えるようにする。

我が国の国土の自然などの様子

- ・広い視野からとらえた国土の自然環境やこれに適応しながら生活している人々の様子、国土の環境保全に欠かすことのできない森林資源の働きなど

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考える

- ・人々が国土の自然環境に適応しながら生活や産業を営んでいること
 - ・国土の環境を守り健康な生活を維持・向上させていくために公害の防止に努めていること
 - ・国土の保全などのために森林資源の育成や保護、自然災害の防止に努めていること
- を手掛かりにして国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを具体的に考えることができるようにする

ア 世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土

(内容の取扱い)

(1)ア アの「主な国」については、近隣の諸国を含めて取り上げるものとする。その際、我が国や諸外国には国旗があることを理解するとともに、それを尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

「世界の主な大陸と海洋」を調べる

- ・ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、アフリカ大陸、オーストラリア大陸、南極大陸の六大陸
 - ・太平洋、大西洋、インド洋の三海洋
- の名称と位置や広がりを取り上げ、地図帳や地球儀などで調べ、白地図などに書き表す
- *その際、世界の中の我が国の位置を確認させ、世界の大陸や海洋と我が国の国土との位置関係や、我が国は周囲が海に囲まれた島国であることなど日本列島の特色を理解できるようにする

→中地理(1)ア

- ・世界の地域構成
- ・緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国々の名称と位置、地域区分など

「主な国の名称と位置」を調べる

- ・世界の主な国を取り上げ、その国の名称と位置を地図帳や地球儀などで調べ、白地図などに書き表すこと
- *その際、我が国とそれらの国との位置関係を確認させ、産業に関する学習などにおいて活用できるようにする
- *「主な国」の取り上げ方としては、例えば、近隣の諸国を含めてユーラシア大陸やその周りに位置する国々の中から10か国程度、北アメリカ、南アメリカ、アフリカ、オーストラリアなどの大陸やその周りに位置する国々の中からそれぞれ2か国程度を選択することが考えられる
- *取り上げた国の名称と位置を確認するようにし、その際、近隣の諸国については正式な国名が分かるようにする
- *我が国や諸外国には国旗があることやいずれの国でも国旗を大切にしていることが分かり、我が国の国旗を尊重するとともに、外国の国旗を尊重する態度を育てるようにする

→小6社会(3)

- ・世界の中の日本の役割について

「我が国の位置と領土」を調べる

- ・我が国の国土を構成する北海道、本州、四国、九州、沖縄島、北方領土などの主な島の名称と位置、我が国の領土の北端、南端、東端、西端、日本列島の周りの海を取り上げ、地図帳や地球儀などで具体的に調べ、白地図などに書き表すことにより、我が国の位置と領土を具体的にとらえる
- *領土については、北方領土の問題についても取り上げ、我が国固有の領土である、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が現在ロシア連邦によって不法に占拠されていることや、我が国はその返還を求めていることなどについて触れるようにする

→中地理(2)ア

- ・日本の地域構成
- ・我が国の国土の位置、領域の特色と変化

小3,4社会(6)ア
・自分たちの県の地理的位置

◇地図帳や地球儀の活用・資料の活用

- ・児童が地図帳や地球儀を活用したり、調べて確認したことを白地図にまとめたりするなどの具体的な活動を取り入れる
 - ・我が国の位置を世界の広がりの中でとらえ、言い表すことができるようにする
 - 例) ・我が国は北半球にあり、ユーラシア大陸の東方に位置し、太平洋と日本海などに囲まれている
 - ・南北に連なる大小の島々で構成された島国であり、大韓民国、中華人民共和国、ロシア連邦と隣り合っている
- *位置の表し方については、他との関係で位置を示す方法や、緯度と経度で示す方法があることについても取り上げる

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを、広い視野から考える手掛かりとなるようにする

学習の手立ての例

- ・地球儀や地図などを使って日本の位置や主な大陸や海洋、主な国の名称と位置を調べ、日本の位置を大陸や海洋、主な国の名称を使って表現する
- ・トレーシングペーパーで地球儀の大陸を写し、大きさを比較する
- ★テーマ別の世界地図を作成する (様々な世界一、オリンピック参加国とメダルの数 など)
- ★世界の国々の国旗について調べ、分類する
- 📍静岡県に多く住む外国人の出身国や静岡県と友好関係にある国を地球儀で探す

イ 国土の地形や気候の概要、自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

(内容の取扱い)

- (1)イ イの「自然条件から見て特色ある地域」については、事例地を選択して取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に扱うこと。

主な学習内容

小3, 4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

「国土の地形や気候の概要」を調べる

- ・国土の主な山地や山脈、平野、川などの地形や地域による気温と降水量の違いなどの気候の概要を取り上げ、
 - ・我が国の地形を全体としてみると山がちで大きな平野が少ないこと
 - ・我が国の気候については四季の変化が見られること
 - ・国土の南と北、太平洋側と日本海側では気候が異なること
- など、国土全体の地形や気候の大まかな様子や特色を調べる

→中地理(2)イ
・世界と比べた日本の地域的特色
(7) 自然環境

「自然条件から見て特色ある地域の人々の生活」を調べる

- ・地形条件や気候条件から見て特色ある地域を取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に調べること
- 例) ・地形や気候に合わせた住まいや学校生活などの日常生活の様子
- ・地形や気候の特色を生かした野菜や果物、花卉の栽培、酪農、観光などの産業
- *事例地の選定に当たっては、
- ・自分たちの住んでいる地域の自然条件に配慮する
 - ・例えば山地や低地などの特色ある地形条件をもつ地域と、温暖多雨や寒冷多雪などの特色のある気候条件をもつ地域の中からそれぞれ一つ取り上げる

→中地理(2)ウ
・日本の諸地域
(7) 自然環境を中核とした考察

◇地図帳や地球儀の活用・資料の活用

- ・国土の地形や気候の概要については地図帳、立体模型を活用して調べ、白地図にまとめるなどの作業的な学習を取り入れる
 - ・自然条件から見て特色ある地域の人々の生活の様子については、事例地を選択して取り上げ、自然環境に適応しながら生活している人々の工夫を具体的に調べる
- *その際、現地に問い合わせて収集した資料などを活用する

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・ 白地図を着色し、日本の地形の概要をつかむ
- ・ 3D画像や空中写真において地形の違いを捉える
- ・ 同じ時期における違った地域の写真を提示し、日本における気候の地域差を捉える
- ・ 北海道と沖縄における産業や人々の生活の違いを調べる
- ★外国人観光客のために、日本の自然環境の特色を紹介するパンフレットを作成する
- ★テーマ別日本地図を作成する
- 🗺️ 川の上流と下流に住む人々の生活を比較する（天竜川、大井川、安倍川、富士川、狩野川 など）
- 🗺️ 静岡県と日本海側の県（新潟県など）の人々の生活の違いを調べる

ウ 公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ

(内容の取扱い)

(1) ウ ウについては、大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を選択して取り上げること。

主な学習内容

小3, 4社会(3)

→
・ 地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、…見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

「公害から国民の健康や生活環境を守ることの大切さ」を調べる

- ・ 大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を取り上げ、公害と国民の健康や生活環境とのかかわりについて調べ、公害を防止することが大切であることを理解できるようにする

例) ・ 産業の発展、生活様式の変化や都市化の進展などにより増加した廃棄物の不適切な処理の結果として人々に有害な影響を及ぼす公害が発生し、国民の健康や生活環境が脅かされてきたこと

- ・ 関係の諸機関をはじめ多くの人々の様々な努力により公害の防止や生活環境の改善が図られていること

* 大気汚染、水質汚濁などの中から具体的事例を一つ選択

◇調査・資料の活用

- ・ 国民の健康や生活環境に及ぼす影響、公害の防止や生活環境の改善などの取組に見られる人々の努力などについて、取り上げた事例に即して具体的に調べる

* その際、公害の問題を国土の環境保全の観点から扱うようにする

* 自分自身や自分の生活とのかかわりでとらえることにより、公害から国民の健康や生活環境の維持・改善に配慮した行動が求められるなど、国民一人一人の協力が必要であることに気付くようにする

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

→中地理(2)ウ(エ)

- ・ 環境問題や環境保全を中核とした考察

学習の手立ての例

- ・ 公害が起こった原因や影響、その後について調べ、考える
- ・ 日本の産業の発展と公害の分布図を作成し、その関連を考える
- ★公害や生活環境改善に関わる新聞記事を収集して考察する
- ★「こどもエコクラブ」をインターネットで調べ、日本各地の小学生の環境保全の活動を知り、自分にできることを考える
- 🗺️ 静岡県における公害の防止や生活環境改善への人々の取組について調べ、まとめる

エ 国土の保全などのための森林資源の働き及び自然災害の防止

(内容の取扱い)

(1) エ エについては、我が国の国土保全などの観点から扱うようにし、森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力及び環境保全のための国民一人一人の協力の必要性に気付くよう配慮すること。

主な学習内容

小3, 4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主要都市の位置

小3, 4社会(3) →
・地域の人々の生活にとって必要な飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理について、…見学、調査したり資料を活用したりして調べ、これらの対策や事業は地域の人々の健康な生活や良好な生活環境の維持と向上に役立っていることを考えるようにする

「国土の保全などのための森林資源の働き」を調べる

・森林資源の働きと国民生活とのかかわりを取り上げ、国土に広がる森林が、国民生活の舞台である国土の保全などに欠かすことのできない資源として重要な役割を果たしていることを調べる

・森林資源の働きと国民生活のかかわり

例) ・国土の土地利用全体に占める森林面積の割合や森林の分布の現状

・国土の保全や水資源の涵養などの森林資源の働き

・森林資源の育成や保護に従事している人々の工夫や努力

*森林で働く人々の仕事を具体的に取り上げ、それらに従事している人々の工夫や努力に気付くようにするとともに、森林資源の育成や保護が大切であることについて考えることができるようにする

*森林資源を守ることは環境保全につながることや、環境保全を図るためには国民一人一人の協力が必要であることに気付くようにする

*森林による自然災害の防止には限界があることについても触れる

「自然災害の防止」を調べる

・自然災害の防止と国民生活とのかかわりを取り上げ、我が国の国土では地震や津波、風水害、土砂災害、雪害などの様々な自然災害が起りやすいこと、その被害を防止するために国や県などが様々な対策や事業を進めていることなどを調べる

・自然災害の防止と国民生活とのかかわり

例) ・地震や津波、火山活動、台風や長雨による水害や土砂崩れ雪害などの被害の様子

・国や県などが進めている砂防ダムや堤防などの整備、ハザードマップの作成などの対策や事業

◇資料の活用・聞き取り調査

例) ・地図や統計、写真などの資料を活用する

・関係機関に従事する人に聞き取り調査をする

・インターネットなどで自然災害の防止に関する情報を集める
具体的に調べるようにする

◎国土の環境が人々の生活や産業と密接な関連をもっていることを考えることができるようにする

*ここでの学習を通して、環境保全のためには国民一人一人の協力が必要であることや、自然災害が起りやすい我が国においては、日ごろから防災に関する情報などに興味をもつなど、国民一人一人が防災意識を高めることが大切であることについても気付くように配慮する

→中地理(2)イ(7)

・自然環境
日本の地形や気候の特色

→中地理(2)ウ(7)

・自然環境を中核とした考察
自然環境が地域の人々の生活や産業などと深い関係をもっていること

→中地理(2)イ(7)

・自然環境
自然災害と防災への努力

→中地理(2)ウ(7)

・自然環境を中核とした考察
地域の自然災害に
応じた防災対策

学習の手立ての例

・日本の森林分布について白地図に表し、考察する

・日本で多い自然災害とその対策について調べる

・自然災害の新聞記事を収集して考察する

★日本の環境辞典を作成する

★自然災害への防災マニュアルを作成する

🏠 森林づくり県民税などの使い道など、静岡県の取組を調べる

🏠 「しずおか未来の森サポーター」としての企業の活動を調べる

🏠 天竜川、大井川、安倍川、富士川、狩野川などのかつての水害と、その後の取組について調べる

🏠 東海地震に対する静岡県の取組を調べる (防災のための情報ネットワークとの関連を図る)

(2) 我が国の農業や水産業について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする。

我が国の農業や水産業

- ・米、野菜、果物などの農産物や畜産物を生産する農業や、魚介類を採ったり養殖したりする水産業を指している
- ・これらの食料生産は、国土の自然環境を生かして営まれ、国民の食生活と密接なかかわりをもつ重要な産業である

◎国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考える

- ・我が国の農業や水産業の盛んな地域では、国民の主食である米をはじめ、食生活に欠かすことができない野菜、果物、畜産物、水産物などを生産し、消費地に送り出すことにより、国民の食生活を支えているという、食料生産の意味を考えることができるようにする

◎自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えるようにする

- ・我が国の農業や水産業に従事している人々が地形や気候などの自然環境を生かすなど、生産を高める工夫や努力をしていることを具体的に考えることができるようにする

ア 様々な食料生産が国民の食生活を支えていること、食料の中には外国から輸入しているものがあること。

主な学習内容

小3, 4社会(2) →
 ・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

小3, 4社会(6) →
 ・県の様子について、次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ、県の特徴を考慮できるようにする

イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置
 エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

「様々な食料生産が国民の生活を支えていること」を調べる

- ・様々な食料生産と国民生活とのかかわりについて取り上げ、国民の食生活が主食である米をはじめ、野菜、果物、畜産物、水産物などの主な食料を生産する農業や水産業などによって支えられていることを具体的に調べる

「食料の中には外国から輸入しているものがあること」を調べる

- ・主な食料の自給率や主な輸入先などを取り上げ、国民の食生活を支えている主な食料の中には、国内の各地で生産されたものだけでなく、外国からの輸入に依存しているものがあることを具体的に調べる

→小6社会(3)ア
 ・我が国の経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

◇調査・資料の活用

- 例) ・商店の広告のちらしを手掛かりにして主な食料の生産地を調査して白地図に書き表す活動
- ・地図帳や地球儀、統計資料などを活用して主な食料のうち自給率の低い食料の品目や輸入先などを調べる活動
 - ・ここでの学習と関連付けて、我が国の貿易の役割について扱う

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・給食の食材の産地や自給率について調べ、白地図やグラフにまとめる
- ・スーパーマーケットの広告から、どのような産地のものが売られているか白地図や表にまとめる
- ・農作物や水産物などの生産量の変化を調べ考察する
- ★米と私たちの生活と関わりについて調べる (例：米に関する地域の祭、米から作られる製品)
- ★食料自給率を上げる方法について考え、討論する
- 📍 静岡県のブランド米について調べる
- 📍 静岡県の特産物と全国の産地を自然条件などの視点から比較する
- 📍 静岡県で行われている地産地消の取組を調べる

イ 我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など

主な学習内容

「我が国の主な食料生産物の分布や土地利用の特色など」を調べる

- ・我が国における主な農産物や畜産物の生産量や主な産地，土地利用の特色，及び主な水産物の漁獲量や主な漁港，漁場などの分布を取り上げ，我が国の農業や水産業の概要やそこに見られる特色を具体的に調べる

◇調査・資料の活用

- ・我が国の農業や水産業の様子を概観し，そこに見られる大まかな特色を調べるために，地図帳や学校図書館の図書，資料などに掲載されている各種の統計資料や分布図などを活用する

例) ・我が国の主な農産物の分布図と気候に関する資料

- ・主な漁港と海流に関する資料

など，複数の資料を関連付けて読み取る活動

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや，自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(ウ)
・資源・エネルギーと産業

小3, 4社会(6) →

- ・県の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県の特色を考えるようにする

イ 県全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子や主な都市の位置

エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

学習の手立ての例

- ・主な日本の農作物の分布と気候や地形との関係を調べ，考察する
- ・主な日本の水産物の漁場の分布と海流や季節との関係を調べ，考察する
- ★農作物や水産物の分布について統計資料を使って調べ，白地図にまとめる
- 🗺️ 静岡県の特産物と全国の産地を自然条件などの視点から比較する

ウ 食料生産に従事している人々の工夫や努力，生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き

(内容の取扱い)

(2) 内容の(2)のウについては，農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を通して調べることとし，稲作のほか，野菜，果物，畜産物，水産物などの生産の中から一つを取り上げるものとする。

(4) 内容の(2)のウ及び(3)のウにかかわって，価格や費用，交通網について取り扱うものとする。

主な学習内容

「食料生産に従事している人々の工夫や努力」を調べる

- ・稲作，野菜，果物，畜産物などを生産する農業や水産業の盛んな地域の具体的事例を取り上げ，

- ・農業や水産業の盛んな地域の人々が，消費者の需要にこたえ，新鮮で良質な物を生産し出荷するために様々な工夫や努力をしていること

- ・地形や気候などの自然環境や社会的な条件を生かして生産を高める工夫や努力をしていること

を具体的に調べる

例) 稲 作：品種改良や生産の効率を高めるための技術の改良を進めていること

味の向上や食の安全確保に努めながら生産や出荷を工夫していることを取り上げること

野菜，果物：新鮮で良質な野菜や果物を生産し出荷するために，様々な工夫や努力をしていること

畜産物：新鮮な牛乳や肉，卵などを生産し出荷するために，様々な工夫や努力をしていること

水産物：漁業技術の改善に努めるとともに，水産資源の保護，育成を図るために栽培漁業などに取り組んでいること

*稲作については必ず取り上げる

*野菜，果物，畜産物，水産物などの中から一つを選択して取り上げる

→中地理(2)イ(7)
・自然環境
→中地理(2)ウ(ウ)
・産業を中核とした考察

小3, 4社会(6) →

- ・県の様子について，次のことを資料を活用したり白地図にまとめたりして調べ，県の特色を考えるようにする

イ 県全体の地形や主な産業の概要，交通網の様子や主な都市の位置

エ 人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

小3, 4社会(2)イ →
・地域の人々の生産
や販売に見られる
仕事の特色及び国
内の他地域などと
のかかわり

*稲作以外の事例の選択においては、児童の興味・関心や学習経験の広がりなどを考慮し、第3学年及び第4学年において、どのような事例を取り上げていたのかに配慮する

「生産地と消費地を結ぶ運輸などの働き」を調べる

・農業や水産業の盛んな地域では、運輸の働きにより鮮度を保ちながら生産物を早く消費地へ届ける努力をしていることや、生産物の輸送手段や経路、出荷先や出荷量などを判断するために情報を収集していることなどを取り上げ、生産地と消費地を結ぶ運輸の働きや情報の利用の様子を具体的に調べる

*生産地と消費地を結ぶ運輸の働きを具体的にとらえさせ、運輸業について理解できるようにする

例) 野菜の生産に従事している人々が、その鮮度を保つために運輸に携わっている人々と協力して、トラックや鉄道、カーフェリー、飛行機などを利用して遠距離の消費地に出荷していることを取り上げ、生産地と消費地を結ぶ陸上輸送や海上輸送、航空輸送の働きを具体的に調べる

*その際、野菜の生産に従事している人々が、インターネットを活用して相場の情報を市場からいち早く入手し、出荷する場所、量、種類、時期を判断していることなど、農業における情報の利用について取り上げる

*価格や費用について取り扱う

例) 野菜や魚など生鮮食料品の価格は時期や場所によって変わること、生産の過程で様々な費用がかかることや生産物を消費地まで運ぶためには費用がかかることなどを取り上げ、消費者の需要にこたえる生産や運輸の工夫に気付くようにする

*交通網について取り扱う

・我が国の各種の交通網にかかわる資料を活用するようにする

例) 陸上輸送について主な高速道路網や鉄道網の資料を、海上輸送や航空輸送について主な航路の資料をそれぞれ活用しながら、生産物が生産地から消費地までどのように運ばれるのか、およびその輸送経路や輸送手段を調べる活動

◇調査・資料の活用

・農業や水産業の盛んな地域の具体的事例の中から我が国の食料生産を理解する上で典型となる地域の事例を取り上げ、具体的な活動を通して調べる

例) ・食料生産の盛んな地域で生産に従事している人々に手紙などで調査する
・インターネットで生産地が発信する情報を集める

◎我が国の農業や水産業は国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることや、自然環境と深いかかわりをもって営まれていることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(エ)
・地域間の結び付き
→中地理(2)ウ(キ)
・他地域との結び付きを中核とした考察

学習の手立ての例

- ・バケツ稲の栽培や農家への聞き取り調査をして、農業に従事している人の工夫や努力を検証する
- ・青果市場における農作物の入荷量や価格などを農作物別、産地別に分けて調べ、考察する
- ・スーパーマーケットの食材の産地を調べ、交通網の資料から輸送経路を予想し、検証する
- ・農家の減少に対する国の取組を調べる

★内容の(2)のウで選択しなかった食料生産について調査する

★今と昔の米作りの違いについて調べ、まとめる

🏞️焼津市のかつお漁、浜名湖の養殖業など、静岡県で行われている漁業を扱い、日本の漁業の特徴をつかむ

(3) 我が国の工業生産について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、それらは国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

我が国の工業生産

- ・我が国における工場での生産活動であり、原材料を加工しその形や性質を変えたり、部品を組み立てたりして生活や産業に役立つ製品をつくり出している工業
- ・それらは、生産する製品の種類によって、金属工業、機械工業、石油化学工業、食料品工業などに分類されている

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考える

- ・国民の生活や産業を支えている各種の工業製品が、それに従事している人々の様々な工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていることや、国民は様々な工業製品によって便利で快適な生活を送っていることなどを手掛かりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考える

ア 様々な工業製品が国民生活を支えていること。

小3,4社会(2)イ →
・地域の人々の生産や販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域などのかかわり

小3,4社会(5)ア →
・古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子

小3,4社会(6)イ →
・県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

小3,4社会(6)エ →
・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「様々な工業製品が国民生活を支えていること」を調べる

- ・我が国の工業生産と国民生活とのかかわりを取り上げ、様々な工業製品が国民生活を支えていることを具体的に調べる
例) ・我が国の国民は様々な工業製品を利用して日常の生活を営んでいること
・国民生活とのかかわりの深い農業や水産業、工業など様々な産業においても工業製品を利用して生産活動を営んでいること

◇調査・資料の活用

- 例) ・暮らしの中でどのような工業製品が使われているのかを調査する活動やそれらを工業の種類別に分類・整理する活動などを通して我が国の工業生産と国民生活とのかかわりを具体的に調べる
- ・我が国の農業や水産業、工業などの中で使われている工業製品を取り上げ、それらの工業製品が産業の発展に果たしている役割を具体的に調べる

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(ウ)
・資源・エネルギーと産業

学習の手立ての例

- ・身の回りにあるものを工業製品とそうでないものに分類する
- ・工業製品により人々の暮らしがどのように変わったか調べ、年表にまとめる
- ★暮らしの中の工業製品を重化学工業と軽工業、さらに、金属工業、機械工業、化学工業、繊維工業、食料品工業などに分類し、図表などであらわす
- ★未来の工業製品を予想し、イラストや言葉で表現する
- 📍静岡県で作られている工業製品を調べる

イ 我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など

小3, 4社会(6)イ →
 ・県全体の地形や主な産業の概要, 交通網の様子や主な都市の位置
 小3, 4社会(6)エ →
 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「我が国の各種の工業生産や工業地域の分布など」を調べる
 ・我が国の主な工業生産の種類, 工業地帯や主な工業地域の分布などを取り上げ, 我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的に調べる

→中地理(2)イ(ウ)
 ・資源・エネルギーと産業

◇調査・資料の活用

・分布図や統計資料などの活用を図る
 例) 我が国の工業の種類別や規模別の生産額, 工場数, 工業地帯や主な工業地域の分布, 立地などを調べ, 我が国全体の工業生産の現状や特色を具体的にとらえられるようにする

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・工業製品の種類, 生産額, 工業地域の分布を分布図やグラフなどにまとめる
- ★各工業地域の共通点や違いを調べ, 考察する
- ★昔と今の工業生産の特色について, 統計資料から考察する
- 📍静岡県における主な工業製品や, その分布を調査し, 他県と比較する

ウ 工業生産に従事している人々の工夫や努力, 工業生産を支える貿易や運輸などの働き

(内容の取扱い)

- (3) 内容の(3)のウについては, 工業の盛んな地域の具体的な事例を通して調べることとし, 金属工業, 機械工業, 石油化学工業, 食料品工業などの中から一つを取り上げるものとする。
 (4) 内容の(2)のウ及び内容の(3)のウにかかわって, 価格や費用, 交通網について取り扱うものとする。

小3, 4社会(6)イ →
 ・県全体の地形や主な産業の概要, 交通網の様子や主な都市の位置
 小3, 4社会(6)エ →
 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

主な学習内容

「工業生産に従事している人々の工夫や努力」を調べる
 ・工業の盛んな地域の事例を取り上げ, 我が国の工業生産に従事している人々が, 消費者の多様な需要にこたえ, 環境に配慮しながら, 優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることを具体的に調べる

→中地理(2)ウ(ウ)
 ・産業を中核とした考察

例) ・原材料の確保や製造の過程
 ・製品の販売や消費地への輸送
 ・新しい技術の開発
 ・資源の有効な利用と確保
 ・環境保全への取組

* 具体的事例については, 金属工業, 機械工業, 石油化学工業, 食料品工業などの中から一つを選択して取り上げること

* 児童の興味・関心や学習経験の広がりを考慮し, 第3学年及び第4学年において, どのような事例を取り上げていたのかに配慮

「工業生産を支える貿易や運輸の働き」を調べる

・原材料の確保や製品の販売などに見られる貿易や運輸などの働きを取り上げ, 貿易や運輸などが工業生産を支える大切な働きをしていることについて具体的に調べる

→中地理(2)イ(エ)
 ・地域間の結び付き
 →中地理(2)ウ(キ)
 ・他地域との結び付きを中核とした考察

例) ・自動車の生産に必要な鋼板の材料となる鉄鉱石が外国から船で運ばれ輸入されていること
 ・我が国で生産された自動車が国内だけでなく世界の様々な国や地域に輸出されていること
 ・貿易や運輸のほかにも工業生産を支えるものとして, 情報の働きについて取り上げる

* 価格や費用について取り扱う

- 例) ・ 製造の過程で様々な費用がかかること
 ・ 原材料の確保や製品の輸送のための費用がかかること
 ・ それらの費用が価格に影響を与えていること

* 交通網について取り扱う

- ・ 我が国の各種の交通網にかかわる資料を活用する
 ・ 工場で使用する原材料がどこの国や地域からどのように運ばれてくるのか、また、工場で生産した製品がどこの国や地域にどのように運ばれているのか、それぞれおおよその輸送経路や輸送手段を調べる

- 例) ・ 陸上輸送について主な高速道路網や鉄道網の資料
 ・ 海上輸送、航空輸送について主な航路の資料

→小6社会(3)ア

- ・ 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

◇見学・調査・資料の活用

- ・ 工業の盛んな地域の事例を取り上げ、見学を取り入れたり視聴覚資料を活用したりして具体的に調べられるようにする
 * 原材料の確保や製品の販売と輸送に見られる工夫については貿易や運輸などの働きとの関連を図る
 * 製造の過程に見られる生産の工夫として製品の研究開発などを取り上げる

◎我が国の工業生産は国民生活を支える重要な役割を果たしていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・ 身近な工業製品をじっくりと観察し、どのような部品からつくられているか調べる
- ・ 工場の見学や聞き取り調査、工業製品の模擬製作などの体験活動から働く人の工夫や努力について考える
- ・ 工業製品の部品がどこから入荷され、製品がどこへ出荷されるかを調査し、地図などにまとめる
- ・ 交通網の地図に工業地域の分布を重ね合わせ、関連について考える
- ・ 日本の輸出入について、統計資料を使って調べ、日本の貿易の特色について考える
- ★ 上記で選択した工業以外について調べる
- ★ 工業製品の原料生産国について調べる
- 📍 静岡県における工業と交通網の関係、長所と課題について調べ、まとめる

(4) 我が国の情報産業や情報化した社会の様子について、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えるようにする。

我が国の情報産業

- ・多種多様な情報を収集し、選択・加工して提供している放送、新聞などのマスメディアや、インターネットなどの情報ネットワークを形成して情報を文字、音声、映像などで瞬時に伝えるサービスを提供している産業

情報化した社会の様子

- ・通信技術の発達と高度化によって情報の生産や相互のやりとりが大量・高速・広域化し、教育、文化、産業、日常生活などの様々な場面において大きな変化が見られること

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることを考える

- ・我が国の情報産業が様々な情報を提供し、国民の多くがそれらを多方面で利用していることや、情報ネットワークの働きが公共サービスの向上のために利用されていることなどを手掛かりにして、情報化の進展が国民生活の向上や産業の発展に大きな影響を及ぼしていることについて考える

◎情報の有効な活用が大切であることを考える

- ・情報の有用性や役割、情報の適切な収集・活用、発信や伝達の仕方、情報化のもたらす様々な影響などをもとに、情報化した社会において人々が主体的に生きていくためには情報を有効に活用することが大切であることについて考えるとともに、様々な情報に対して適切に判断し、望ましい行動をしようとする能力や態度を身に付ける

ア 放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり

(内容の取扱い)

(5) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア アについては、放送、新聞などの中から選択して取り上げること。

主な学習内容

小3,4社会(6) → イ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

小5社会(2)ウ
・生産物の輸送手段や経路、出荷先や出荷量などを判断するために情報を収集していること

小5社会(3)ウ
・工業生産を支えるものとして、情報の働きについて取り上げる

「放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわり」を調べる

- ・日常の生活や産業における情報手段や情報の利用の様子を取り上げ、放送、新聞などの産業と国民生活とのかかわりを具体的に調べる
例)・近年の情報化の進展に伴い、我が国ではテレビやラジオ、新聞、電話、コンピュータなどの様々な情報手段が普及していること
・人々は放送や新聞などの産業が発信する情報を日常の生活や産業活動の多方面で活用し、様々な影響を受けていること

*放送、新聞などの中から一つを選択して取り上げる

*事例の選択に当たっては、地域の実態や児童の興味・関心、教材の収集状況などから判断する

◇調査・資料の活用

- ・人々が日常の生活や産業活動において、必要な情報をどのように入手しどのように生かしているのかなどについて具体的に調べる
- *マスメディアの働きや、それを通して送り出された情報が国民生活に大きな影響を及ぼしていることを調べ、情報を発信する側に求められる役割や責任の大きさ、情報を受け取る側の正しい判断の必要性などについて考えをまとめることが大切である

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考えることができるようにする

→中地理(2)イ(エ)
・地域間の結び付き
→中地理(2)ウ(キ)
・他地域との結び付きを中核とした考察

学習の手立ての例

- ・ 情報を得る手段の昔と今の違いを調べ年表にまとめる
- ・ 大きな地震が起こった後、どのような情報をどのように入手したらよいか考える
- ・ 様々な仕事の人に、仕事の上で必要な情報と、その入手方法を聞き取り調査する
- ・ 新聞・テレビ・インターネットの情報を比較し、それぞれの有効な活用方法を考える
- ・ 情報を発信する側と受け取る側の留意点を考え、話し合う
- ★ 昔と今の新聞を比較し、違いをまとめる
- ★ 同じ事象を扱った様々な新聞を読み比べ、新聞を活用する際の留意点を考えまとめる
- 📍 静岡県の新聞と全国紙を比較し、違いについて考察する

イ 情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり

(内容の取扱い)

(5) 内容の(4)については、次のとおり取り扱うものとする。

イ イについては、情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げること。

主な学習内容

小3,4社会(6)イ →
 ・ 県全体の地形や主な産業の概要、交通網の様子や主な都市の位置

「情報化した社会の様子と国民生活とのかかわり」を調べる

- ・ 情報ネットワークを有効に活用して公共サービスの向上に努めている教育、福祉、医療、防災などの事例のいずれかを取り上げ、多様多様な情報を必要に応じて瞬時に受信したり発信したりすることができる情報ネットワークの働きが公共サービスの向上のために利用され、国民生活に様々な影響を及ぼしていることを具体的に調べる
- * 教育、福祉、医療、防災などの中から選択して取り上げる
 - 例)・インターネットを活用して遠隔地の学校と授業を行っている事例
 - ・ 福祉や医療などの施設や機関が情報を共有し、地域の人々へのサービスの向上に努めている事例
 - ・ 地震や土砂災害、犯罪の発生を即時に知らせる取組の事例
- * 事例の選択に当たっては、学校、保育所や福祉センター、病院、地域の人々が参加している防災関係の取組など、児童やその家族、身近な地域の人々の日常生活との結び付きが見られるものを取り上げる
- * 情報ネットワークの利便性に目を向け、情報化の進展によって人々の生活の向上が図られていることを具体的に調べることにより、情報を有効に活用しながら生活する必要があることや、情報の送り手として、発信する情報に責任をもつことが大切であることについても触れる

◇調査・資料の活用

- 例)・公共サービスにかかわる仕事に従事している人から話を聞く
- ・パンフレットなどの資料を効果的に活用する
- ・コンピュータを実際に使ってインターネットで情報を収集したり、発信したりする活動を取り入れる

◎情報化の進展は国民の生活に大きな影響を及ぼしていることや情報の有効な活用が大切であることを考える

→小6(2)ア

- ・ 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること

→中地理(2)イ(1)

- ・ 地域間の結び付き
- 中地理(2)ウ(4)
- ・ 他地域との結び付きを中核とした考察

学習の手立ての例

- ・ 病院(学校・福祉施設)における情報の活用の仕方(情報ネットワーク)を聞き取り調査などによって調べ、その利点と課題を考える
- ・ 情報ネットワークが広がることによる社会の変化について考察する
- ・ 学習した内容を生かして学校のホームページを作成し、情報を発信する
- ★ 未来の情報ネットワークの活用方法を考え、表現する
- ★ 扱った情報ネットワーク以外の事例について調べる
- 📍 地震の際、どのような情報ネットワークが活用されるか調べ、活用の際の留意点や、よりよい情報ネットワークにするために必要なことを考える

ウ 第6学年

(7) 目標

(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。

ねらい：・国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにすること

・我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにすること

*内容の(1)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにする」

- ・国民生活の歴史的背景としての我が国の今日までの歴史に目を向け、国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心をもつようにすること
- ・先人の業績については、歴史上の人物が当時の世の中の課題を解決し人々の願いを実現していったことを調べたり、調べたことをまとめたりしながら、人物の働きを共感的に理解できるようにすること
- ・優れた文化遺産についても、当時の人々の願いやものの考え方が具現化されたものであることを理解できるようにすること
- ・戦後の歴史に関する内容においては、国際社会が進展する中で、我が国が国際交流や国際貢献の面で重要な役割を果たしてきたことについての理解を深めるようにすること

態度に関する目標：

「我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする」

- ・今日の国民生活は国家・社会の発展に貢献した先人によって作りだされた歴史や伝統の上に成り立っているものであり、このような歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情や、将来に向けて平和で民主的な国家・社会の進展に一層努力していこうとする態度を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

・内容の(1)の指導を通して、

・それぞれの先人がその時代その時代の課題を解決し、人々の願いを実現するために様々な知恵を出し合いながら、国家・社会の発展に大きな働きをしてきたこと

・様々な工夫や努力をしながら優れた文化遺産を生み出したこと

を理解できるようにすることが大切である

・このことによって、歴史上の人物の働きや文化遺産のもつ価値を理解し、それらに興味・関心をもつようにすること

・先人によってつくられてきた我が国の歴史や伝統を大切にしようとする態度や、国を愛する心情を育てるようにすること

が大切である

・このことは、日本人としての自覚をもって国際社会で主体的に生きていくために必要な資質や能力の基礎を培うことにつながる

(2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。

ねらい：日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方、我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにすること

*内容の(2)及び(3)にかかわる理解と態度に関する目標

理解に関する目標：

「日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方」

- ・日常生活の中で見られる政治の働きについて具体的に理解できるようにすること
- ・我が国の民主政治が国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること
- ・我が国の民主政治の考え方が日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを理解できるようにすること

「我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割」

- ・我が国と関係の深い国の生活や文化と我が国のそれらとの相互理解を図ることが大切であること
- ・今日我が国は経済や文化の交流などで世界の国々と深いつながりをもっていること
- ・我が国は平和な国際社会の実現に向けて国際交流や国際協力を行っていること
- ・我が国が国際社会において重要な役割を果たしていることを理解できるようにすること

態度に関する目標：

「平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする」

- ・我が国は日本国憲法に基づいて戦後一貫して平和な国際社会の実現を目指して努力してきており、これからも国際社会の一員としてその努力を続けていくことが必要であるという自覚
- ・そのためには平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であるという自覚を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

- ・内容の(2)の指導を通して、
 - ・国民生活の安定と向上を図るための政治の働きを理解できるようにすること
 - ・身近な日常生活における政治の働きへの関心をもつようにすること
 - ・内容の(3)の指導を通して、
 - ・平和な国際社会の実現のためには国際理解、国際交流、国際協力が大切であることや、そのための我が国の役割を理解すること
 - ・平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにすること
- が大切である

(3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。

ねらい：我が国の歴史と政治及び国際理解に関する学習を通して、社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、

- ・社会的事象の意味をより広い視野から考える力
- ・調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにすること

*第6学年の内容全体にかかわる能力に関する目標

「社会的事象を具体的に調査」する

- ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりするために、観点や質問事項を決めて、詳しく見たり聞いたりするなどの調査を行うこと

「地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用」する

- ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりするために、地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用すること
- ・資料を例にすると、第6学年においては、次のように活用することが考えられる
 - ・資料から必要な情報を的確に読み取る
 - ・資料に表されている事柄の全体的な傾向をとらえる
 - ・複数の資料を関連付けて読み取る
 - ・資料の特徴に応じて読み取る
 - ・必要な資料を収集・選択したり吟味したりする
 - ・資料を整理したり再構成したりする

「社会的事象の意味をより広い視野から考える力」を育てる

- ・歴史上の主な事象にかかわる先人の業績や代表的な文化遺産について、それらが我が国の国家・社会の発展に果たした役割や文化遺産のもつ意味
- ・国民生活と民主政治の関係について、政治は国民生活の安定と向上に役立っていること
- ・我が国と関係の深い国の人々の生活や国際社会における我が国の役割について、国際社会の一員としての立場から平和な国際社会の実現のための我が国の役割を
考える力を育てるようにすること

「調べたことや考えたことを表現する力」を育てる

- ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象について具体的に調査したり、地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用したりして調べたこと
- ・社会的事象の意味をより広い視野から考えたことを表現する力を育てるようにすること

*この目標を実現するために：

- ・第6学年の内容全体の指導を通して、
 - ・我が国の歴史と政治及び国際理解に関する社会的事象について、学習問題に即して具体的に調査したり、地図帳や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を活用したりして調べることができるようにする必要がある
 - ・調べたことや社会的事象の意味について広い視野から考えたことを、根拠や解釈を示しながら図や文章などで表現し説明することができるようにすることが大切である

(イ) 内容

(1) 我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

我が国の歴史上の主な事象

- ・我が国の歴史の進展に大きな影響を与えた各時代の代表的な歴史的事象
- ・具体的には内容の(1)のアからケの各項目に示された歴史的事象

人物の働き

- ・国家・社会の発展に貢献した先人の働きのこと
- ＊内容の(1)のアからクに示された歴史的事象を調べる際には、内容の取扱いの(1)のエに示された、これらの歴史的事象とかかわりの深い人物の働きを中心にして、具体的に調べることが大切

代表的な文化遺産

- ・例えば国宝、重要文化財に指定されているものや、そのうち世界文化遺産に登録されているものなど
- ・人々の工夫や努力によって生み出され、保存・保護されてきた国家・社会の発展を象徴する優れた文化遺産
- ＊これらの文化遺産については、歴史的事象や人物の働きとの関連に配慮して児童が理解しやすいものを選択して取り上げ、具体的に調べることができるようにする

◇遺跡や文化財、資料などを活用して調べ

- ＊小学校の歴史学習では、通史的に展開し知識を網羅的に覚えさせるのではなく、国土に残る遺跡や文化財を調べたり、年表や文章資料などの資料を活用したりして、人物の願いや働き、文化遺産の意味などを考え、我が国の歴史に対する興味・関心や愛情を育てるようにする
- ＊資料の活用にあたっては、人物の肖像画や伝記、エピソード(逸話)などによって人物への興味・関心を高めることも大切
- ＊地域の博物館や郷土資料館などの学芸員からの話を聞くことは、歴史的事象を具体的に理解する上で有効

◎歴史を学ぶ意味を考える

- ・単に過去のできごとを理解するだけでなく、現在の自分たちの生活や国家・社会の発展の基盤がどこにあるのかを考えたり過去のできごとを現在及び将来の発展に生かすことを考えたりすることができるようにすること
- ＊歴史学習を通して、児童一人一人が、なぜ歴史を学ぶのかについて考えることができるようにする

◎自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深める

- ・人物の働きや代表的な文化遺産を中心に歴史を学ぶことによって、今日の自分たちの生活は、長い間の我が国の歴史や先人たちの働きの上に成り立っていることや、遠い祖先の生活が自分たちの生活と深くかかわっていることを理解できるようにする
- ・我が国の歴史は各時代において様々な課題の解決や人々の願いの実現に向けて努力した先人の働きによって発展してきたことを理解できるようにし、我が国の歴史への興味・関心を深めるようにする
- ＊このことは、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育成することにつながる

＊本内容の指導にあたっては、人物の働きや代表的な文化遺産を中心とした学習を通してねらいが効果的に実現できるようにするために、内容の(1)のアからケに示した歴史的事象の扱い方などに留意し、取扱う時数に軽重をつけるなど、単元の構成を工夫する必要がある

内容(1)全体にかかわるものの取扱い

(1) 内容の(1)については、次のとおり取り扱うものとする。

ア 児童の興味・関心を重視し、取り上げる人物や文化遺産の重点の置き方に工夫を加えるなど、精選して具体的に理解できるようにすること。その際、ケの指導にあたっては、児童の発達の段階を考慮すること。

イ 歴史学習全体を通して、我が国は長い歴史をもち伝統や文化をはぐくんできたこと、我が国の歴史は政治の中心地や世の中の様子などによって幾つかの時期に分けられることに気付くようにすること。

エ アからクまでについては、例えば、次に掲げる人物を取り上げ、人物の働きを通して学習できるように指導すること。

卑弥呼、聖徳太子、小野妹子、中大兄皇子、中臣鎌足、聖武天皇、行基、鑑真、藤原道長、紫式部、清少納言、平清盛、源頼朝、源義経、北条時宗、足利義満、足利義政、雪舟、ザビエル、織田信長、豊臣秀吉、徳川家康、徳川家光、近松門左衛門、歌川(安藤)広重、本居宣長、杉田玄白、伊能忠敬、ペリー、勝海舟、西郷隆盛、大久保利通、木戸孝允、明治天皇、福沢諭吉、大隈重信、板垣退助、伊藤博文、陸奥宗光、東郷平八郎、小村寿太郎、野口英世

オ アからクまでについては、例えば、国宝、重要文化財に指定されているものや、そのうち世界文化遺産に登録されているものなどを取り上げ、我が国の代表的な文化遺産を通して学習できるように配慮すること。

ア 狩猟・採集や農耕の生活，古墳について調べ，大和朝廷による国土の統一の様子が分かること。その際，神話・伝承を調べ，国の形成に関する考え方などに関心をもつこと。

(内容の取扱い)

(1) ウ アの「神話・伝承」については，古事記，日本書紀，風土記などの中から適切なものを取り上げること。

主な学習内容

小3. 4社会(5) →
・地域の人々の生活について，…人々の生活の変化や人々の願い，地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする

「狩猟・採集や農耕の生活」について調べる

- 例) ・貝塚や集落跡などの遺跡，土器などの遺物を取り上げて調べ，日本列島では長い期間，豊かな自然の中で狩猟や採集の生活が営まれていたことが分かるようにする
- ・水田跡の遺跡や農具などの遺物を取り上げて調べ，農耕が始まったころの人々の生活や社会の様子が分かるようにする

「古墳」について調べる

- 例) 古墳の規模やその出土品，古墳の広がりなどを取り上げて調べ，各地に大きな力をもつ豪族が出現し，やがて大和朝廷により国土が統一されたことが分かるようにする
- * 国土の統一の様子を物語る神話・伝承を取り上げて，児童の関心を深めるようにする

◇博物館，郷土資料館，資料の活用・遺跡，遺物の観察

- 例) ・博物館や郷土資料館などを活用して遺物などを観察し，それらをもとに狩猟・採集や農耕の生活をしてきたころの人々の生活や社会の様子を考える
- ・卑弥呼が治めたとされる邪馬台国の様子を想像して当時の社会を考える
- ・身近な地域や国土に残る古墳について調べ，豪族や大和朝廷の力などを考える
- ・神話・伝承を調べて国の形成について当時の人々のものの見方や考え方などに関心をもつようにする

◎大和朝廷による国土の統一の様子が分かるようにする

- ・各地に支配者が現れ，大和朝廷による国土の統一が進められたことが分かるようにする

* 神話・伝承を調べ，国の形成に関する考え方などに関心をもつ

- ・神話・伝承に見られる国の形成について，当時の人々のものの見方や考え方に関心をもつ
- * 神話や伝承には，国家の成立や国土の統一について，児童が興味をもちやすい物語が多く見られるので，それらを具体的に調べる
- * 取り上げる神話・伝承については，古事記，日本書紀，風土記などの中から，国の形成に関する考えを学習する上で適切なものを取り上げる

→中歴史(2)ア

- ・日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰

→中歴史(2)ア

- ・世界の各地で文明が築かれ，東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解させる

→中歴史(2)

- ・神話・伝承などの学習を通して，当時の人々の信仰やものの見方などに気付かせるよう留意すること

学習の手立ての例

- ・ 1万年前からの等尺年表を作成し，縄文時代の長さを調べる
- ・ 大昔の生活を描いた想像図から気付いたことや調べたいことを出し合う
- ・ 博物館や郷土資料館で農具・土器などの遺物を調査したり，学芸員の方の話を聞いたりする
- ・ 弥生時代の水田跡や集落跡などの遺跡を見学したり，調査したりして社会の様子を考える
- 📍 蜷塚遺跡，伊場遺跡，登呂遺跡，山木遺跡などの県内の遺跡から想像される人々の生活を調べる
- 📍 登呂の村での，稲作づくりによる生活の様子や道具などの変化を調べる
- ★ 「魏志」の倭人伝などを活用して，邪馬台国の人々の生活の様子や邪馬台国があった場所についての論争について調べる
- ・ 古墳がどのようにつくられたか調べたり，埴輪などの遺物から当時の様子を考えたりする
- ・ 古墳の分布と豪族の勢力の関係図を活用し，社会の様子を考える
- 📍 賤機山古墳など，地域に存在する古墳や遺物を調べる
- ・ 古事記や日本書紀，風土記の神話や伝承を調べる
- 📍 日本武尊の神話など，静岡県にかかわりのある神話を調べる

イ 大陸文化の摂取，大化の改新，大仏造営の様子，貴族の生活について調べ，天皇を中心とした政治が確立されたことや日本風の文化が起こったことが分かること。

主な学習内容

「大陸文化の摂取」について調べる

例) 法隆寺や遣隋使などによる大陸文化の摂取を取り上げて調べ，聖徳太子が小野妹子らを隋（中国）に派遣し，政治の仕組みなど大陸文化を積極的に摂取しようとしたことが分かるようにする

「大化の改新」について調べる

例) 中大兄皇子や中臣鎌足による政治の改革を取り上げて調べ，天皇中心の新しい国づくりを目指したことが分かるようにする

「大仏造営」について調べる

例) ・聖武天皇の発案のもとに，行基らの協力により国家的な大事業として東大寺の大仏が造られたことを取り上げて調べ，天皇を中心にしてつくられた新しい国家の政治が都だけでなく全国にも及んだこと
・聖武天皇の願いにより鑑真が来日したことを取り上げて調べ，仏教の進展に大きな働きをしたことが分かるようにする

「貴族の生活」について調べる

例) 藤原道長に代表される貴族の暮らしや，紫式部や清少納言の活躍などを取り上げて調べ，日本風の文化が起こったことが分かるようにする

◇資料の活用

例) ・聖徳太子の肖像画やエピソードなどからその人となり調べる
・大仏の大きさから天皇の力を考えたり，大仏造営を命じた詔から聖武天皇の願いを考えたりする
・十二単や貴族の服装などから貴族の生活の様子を想像したり文化の特色について考えたりする

◎天皇を中心とした政治が確立したことが分かるようにする

・聖徳太子の政治や大化の改新によって政治の仕組みが整えられたこと
・大仏が造営されたころに天皇を中心とした政治が確立されたことが分かるようにする

◎日本風の文化が起こったことが分かるようにする

・これまでの大陸文化とは趣の異なった，独自の日本風の文化が開花したことが分かるようにする

→中歴史(2)イ

・律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などを通して，大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族の政治が展開したことを理解させる

→中歴史(2)ウ

・仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などを通して，国際的な要素をもった文化が栄え，後に文化の国風化が進んだことを理解させる

学習の手立ての例

- ・人物を中心に調べ，その人物が抱えていた課題や願い，課題の解決に向けて努力したことなどの働きを整理し，自分の考えをまとめた歴史新聞を作成する
- ・大仏の顔や手の大きさと同等な絵などを，運動場や模造紙などに作成する
- ★木簡から地域の特産物を調べたり，当時の暮らしの様子について考えたりする
- ★国分寺跡，万葉集などを手がかりにして，身近な地域の奈良時代の様子について調べる
- 📍静岡県に残る国分寺，国分尼寺跡や志太郡衙跡について調べる
 - ・貴族の屋敷の想像図などから，貴族の暮らしの様子や文化の特色について気付いたことや考えたことを出し合う
 - ・天平文化や国風文化に関わる人物や文化遺産について調べ，その特色や意味などについて考える
- ★源氏物語や枕草子，大和絵から，貴族の暮らしの様子や当時のものの考え方，今に伝わるものを調べる

ウ 源平の戦い、鎌倉幕府の始まり、元との戦いについて調べ、武士による政治が始まったことが分かること。

主な学習内容

「源平の戦い」について調べる

例) 平清盛や源義経の活躍などを取り上げて調べ、平氏と戦った源氏が勝利を取めたことが分かるようにする

「鎌倉幕府の始まり」について調べる

例) 朝廷から認められ全国に守護、地頭を置いた源頼朝が鎌倉に幕府を開いたことを取り上げて調べ、武士による政治が始まったことが分かるようにする

「元との戦い」について調べる

例) 北条時宗が全国の武士を動員して元の攻撃を退けたことなどを取り上げて調べ、幕府が全国的に力をもってきたことが分かるようにする

◇資料の活用

- 例) ・源平の戦いにおける源義経の活躍の様子やエピソードを調べる
・肖像や人物年表、エピソードから都を離れて鎌倉に幕府を開いた源頼朝の業績について考える
・元との戦いの様子から武士の戦いぶりを調べる

◎武士による政治が始まったことが分かるようにする

- ・源頼朝が鎌倉に幕府を開き、武士が勢力をもつようになったことが分かるようにする

→中歴史(3)ア

・鎌倉幕府の成立、南北朝の争乱と室町幕府、東アジアの国際関係、応仁の乱後の社会的な変動などを通して、武家政治の特色を考えさせ、武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接なかかわりがみられたことを理解させる

学習の手立ての例

- ・源平の戦いや元との戦いについて、人物の活躍、エピソードを調べる
 - ・貴族の屋敷と武士の館の想像図を比較し、武士の暮らしや社会の特色を考える
 - ・鎌倉の位置や地形を調べ、鎌倉に幕府を開いた理由を考える
- 🏠 源頼朝にかかわる伊豆の史跡や、富士川の戦い、手越原の合戦などについて調べる
- 🏠 「領家」「地頭方」などの地名、富士の巻狩りにちなんだ地名などを調べる

エ 京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画について調べ、室町文化が生まれたことが分かること。

主な学習内容

「京都の室町に幕府が置かれたころの代表的な建造物や絵画」について調べる

- 例) ・足利義満が建てた金閣や足利義政が建てた銀閣などの建造物
 - ・雪舟によって描かれた水墨画などの絵画
- をとり上げて調べ、今日的生活文化に直結する要素をもつ室町文化が生まれたことが分かるようにする

◇資料の活用・体験的な活動

- 例) 書院造の影響を受けている伝統的な家屋を調べたり、水墨画を描く体験を行ったりして、室町文化に関心をもつようにする

◎室町文化が生まれたことが分かるようにする

- ・京都の室町に幕府が置かれたころに、足利義満や足利義政によって代表的な建造物が建てられたこと
 - ・雪舟によって我が国の水墨画を代表する作品が生み出されたことが分かるようにする
- *ここで生まれた文化は今もなお多くの人々に親しまれていることに触れるようにする。その際、能、茶の湯、生け花などについても関連的に取り上げることが考えられる

→中歴史(3)イ

- ・農業など諸産業の発達、畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立、禅宗の文化的な影響などを通して、武家政治の展開や民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解させる

学習の手立ての例

- ・公民館の講座や地域の人材を活用し、水墨画や生け花、茶の湯などの体験をしたり、その魅力を聞いたりする
 - ・金閣と銀閣、銀閣東求堂と現代の和室を比較し、共通点や相違点を調べる
 - ・室町文化が栄えた頃の村や町の様子について調べる
- ★身近な地域に残る室町時代から始まった行事や祭りについて調べる

オ キリスト教の伝来，織田・豊臣の天下統一，江戸幕府の始まり，参勤交代，鎖国について調べ，戦国の世が統一され，身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かること。

主な学習内容

「キリスト教の伝来」について調べる

例) ザビエルがキリスト教を伝えたことを取り上げて調べ，我が国にキリスト教が広まったことが分かるようにする

「織田・豊臣の天下統一」について調べる

例) ・織田信長が短い期間に領土を拡大したこと
・豊臣秀吉が検地や刀狩などの政策を行ったこと
を取り上げて調べ，戦国の世が統一された様子が分かるようにする

「江戸幕府の始まり」について調べる

例) 徳川家康が関ヶ原の戦いに勝利を収め，江戸に幕府を開いたことを取り上げて調べ，江戸幕府による政治が始まったことが分かるようにする

「参勤交代」について調べる

例) 徳川家光の時代に参勤交代が制度として確立したことを取り上げて調べ，大名を抑える仕組みを整えたことが分かるようにする

「鎖国」について調べる

例) キリスト教の禁止や海外との貿易の統制などが行われたことを取り上げて調べ，江戸幕府による政治が安定したことが分かるようにする

◇資料の活用

例) ・戦い方を工夫しながら勢力を伸ばした織田信長による天下統一の様子を調べる
・検地や刀狩の資料から豊臣秀吉の政策の意図を考える
・徳川家康や徳川家光の肖像画や人物年表，エピソードなどからそれらの人物の業績を考える
・大名行列や出島，踏絵の資料を活用して江戸幕府の政策を調べる

◎戦国の世が統一され，身分制度が確立し武士による政治が安定したことが分かるようにする

・織田信長と豊臣秀吉の活躍により群雄割拠の世の中が統一されたこと
・徳川家康や徳川家光の働きにより武士を中心とする身分制度が確立し，江戸幕府の政治が安定したことが分かるようにする

→中歴史(4)ア

・戦国の動乱，ヨーロッパ人來航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを通して，近世社会の基礎がつけられていったことを理解させる

→中歴史(4)イ

・江戸幕府の成立と大名統制，鎖国政策，身分制度の確立及び農村の様子，鎖国下の対外関係などを通して，江戸幕府の政治の特色を考えさせ，幕府と藩による支配が確立したことを理解させる

学習の手立ての例

★キリスト教や鉄砲が伝来した経緯やヨーロッパから伝わった品物について調べる

- ・火縄銃を利用した，織田信長の戦い方について調べる
- ・信長・秀吉の統一事業について調べ，それらを行った意図や社会に与えた影響を考える
- ・織田信長，豊臣秀吉，徳川家康の業績を年表にまとめ，3人の関連やそれぞれの役割を考える

🏰今川義元の活躍，県内の城跡，中村一氏の領国検地，安倍金山などについて調べる

🏰久能山東照宮，駿府城，浜松城，三方原の合戦などの城跡や古戦場，徳川家康など地域にゆかりのある武将について調べる

- ・参勤交代について，大名の配置や参勤交代以外の武家諸法度のきまりと関連付けながら考える

🏰山田長政の業績，由井正雪の乱，大須賀鬼卵「東海道人物志」などについて調べる

- ・農民の様子を描いた絵画資料などを活用して，江戸時代の農民の生活の様子について調べる

- ・出島や踏絵の資料を活用して鎖国について調べ，キリスト教を禁止した意図を考える

🏰朝鮮通信使や琉球からの使節が訪れた清見寺（静岡市）について調べる

カ 歌舞伎や浮世絵, 国学や蘭学について調べ, 町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かること。

主な学習内容

「歌舞伎や浮世絵」について調べる

- 例) ・近松門左衛門などによって生み出された歌舞伎の作品が数多く演じられ, それを人々が楽しんで見ていたこと
 ・歌川(安藤)広重などによって描かれた作品が人々に親しまれたこと
 を取り上げて調べ, 町人の文化が栄えたことが分かるようにする

「国学や蘭学」について調べる

- 例) ・本居宣長が我が国の古典を研究し国学の発展に重要な役割を果たしたこと
 ・杉田玄白がオランダ語の医学書を翻訳して『解体新書』を著したこと
 ・伊能忠敬が全国を測量して精密な日本地図を作ったこと
 を取り上げて調べ, 新しい学問が起こったことが分かるようにすること

◇資料の活用

- 例) ・歌舞伎や浮世絵を楽しむ人々に着目して当時の文化の担い手を考える
 ・本居宣長, 杉田玄白, 伊能忠敬の業績から, その努力の様子や果たした役割を調べる

◎町人の文化が栄え新しい学問が起こったことが分かるようにする

- ・社会が安定するにつれて, 歌舞伎や浮世絵などの文化が町人の間に広がったこと
- ・国学や蘭学などの新しい学問が起こったことが分かるようにする

→中歴史(4)ウ

- ・産業や交通の発達教育の普及と文化の広がりなどを通して, 町人文化が都市を中心に形成されたことや, 各地方の生活文化が生まれたことを理解させる

→中歴史(4)エ

- ・社会の変動や欧米諸国の接近, 幕府の政治改革, 新しい学問・思想の動きなどを通して, 幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる

学習の手立ての例

- ・歌舞伎や人形浄瑠璃, 浮世絵などの具体的な作品について, それらを楽しむ人々に着目したり, それまでの文化と比較したりして調べる
- ・当時の江戸や大阪を描いた絵画資料を活用し, 都市や商業の発展を調べ, 江戸の文化が栄えた背景を考える
- ・本居宣長や杉田玄白, 伊能忠敬の業績や努力の様子を具体的に調べ, 劇で表現する
- ★絵画資料などを活用し, 江戸の人々の職業やリサイクルの様子を調べる
- 🗺️「東海道五十三次」に描かれた, 県内の宿場町の様子について調べる

キ 黒船の来航，明治維新，文明開化などについて調べ，廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かること。

主な学習内容

「黒船の来航」について調べる

例) ペリーが率いる米国艦隊の来航を取り上げて調べ，我が国が開国し，江戸幕府が倒れるきっかけになったことが分かるようにする

「明治維新」について調べる

例) ・西郷隆盛，大久保利通，木戸孝允らの働きによって明治天皇を中心とした新政府がつけられたこと

・勝海舟と西郷隆盛の話し合いにより戦いをせずに江戸城の明け渡しが行われたこと

・明治天皇の名による五箇条の御誓文が發布され新政府の政治方針が示されたこと

などを取り上げて調べ，新しい時代が始まり，廃藩置県や市民平等などの諸改革によって近代的な政治や社会の仕組みが整ったことが分かるようにする

「文明開化」について調べる

例) 福沢諭吉が欧米の思想を紹介するなどして，欧米の文化が広く取り入れられたことなどを取り上げて調べ，人々の生活が大きく変化したことが分かるようにする

◇資料の活用

例) ・ペリーの肖像画や黒船来航の錦絵などから江戸幕府や当時の人々への影響を考える

・西郷隆盛，大久保利通，木戸孝允のエピソードや資料などをもとに明治政府の諸改革について調べる

・『学問のすゝめ』を手掛かりとして福沢諭吉が欧米から取り入れた新しい文化や考え方を調べる

◎廃藩置県や四民平等などの諸改革を行い，欧米の文化を取り入れつつ近代化を進めたことが分かるようにする

・明治政府が行った廃藩置県や四民平等などの諸改革によって近代国家としての政治や社会の新たな仕組みが整い，欧米の文化を取り入れて我が国の近代化を進めたことが分かるようにする

→中歴史(5)ア

・欧米諸国における市民革命や産業革命，アジア諸国の動きなどを通して，欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる

→中歴史(5)イ

・開国とその影響，富国強兵・殖産興業政策，文明開化などを通して，新政府による改革の特色を考えさせ，明治維新によって近代国家の基礎が整えられて，人々の生活が大きく変化したことを理解させる

学習の手立ての例

- ・黒船来航の絵やペリーの肖像画を活用しながら，黒船の来航による幕府や当時の人々への影響を考える
- ・勝海舟，西郷隆盛，大久保利通，木戸孝允らの功績について，エピソードを基に調べる
- ・廃藩置県や四民平等について調べ，江戸時代の幕藩体制や身分制度と比較しながら，それらの政策の意図を考える
- ・文明開化の様子や福沢諭吉が示した新しい考え方について調べ，社会の変容を考える

★地域に残る明治時代の道具や記念碑などを，写真に撮るなどしてまとめる

📍幕末や明治維新に関わる静岡県の人物や代表的な文化遺産など（下田黒船祭，韮山反射炉，山岡鉄舟，徳川慶喜公屋敷跡，牧之原の開拓，見付学校，岩科学校など）について調べる

ク 大日本帝国憲法の発布，日清・日露の戦争，条約改正，科学の発展などについて調べ，我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かること。

主な学習内容

「大日本帝国憲法の発布」について調べる

例) 国会の開設に備えて政党をつくった板垣退助や大隈重信，憲法制定に重要な役割を果たした伊藤博文の働きなどを取り上げて調べ，明治政府が発足後20年ほどで憲法を制定し，立憲政治を確立したことが分かるようにする

「日清・日露の戦争」について調べる

例) ・日清戦争の講和条約の締結で大きな働きをした陸奥宗光
 ・日露戦争において活躍した東郷平八郎や講和条約の締結で大きな働きをした小村寿太郎
 の働きなどを取り上げて調べ，我が国が厳しい国際環境に置かれた状況において，これらの戦争に勝利を収め，講和条約を締結することによって，国の安全を確保することができたことが分かるようにする
 * これらの戦争において，朝鮮半島及び中国の人々に大きな損害を与えたことに触れる

「条約改正」について調べる

例) 外務大臣であった陸奥宗光や小村寿太郎の働きなどを取り上げて調べ，幕末に欧米諸国との間で結ばれた不平等な条約を対等なものに改める交渉を進め，条約改正に成功したことが分かるようにする

「科学の発展」について調べる

例) 黄熱病について世界的に注目された研究を行った野口英世の業績を取り上げて調べ，科学の面でも我が国の国際的な地位が向上し，世界的に優れた学者が活躍したことが分かるようにする

◇資料の活用

例) ・伊藤博文が大日本帝国憲法の起草を進めるに当たってどのような取り組み方をしたのかを調べる
 ・日清・日露の戦争や条約改正にかかわる主なできごとを年表に表し，陸奥宗光や小村寿太郎の努力をとらえる

◎我が国の国力が充実し国際的地位が向上したことが分かるようにする

・大日本帝国憲法の発布や日清・日露の戦争において勝利したこと，幕末に結ばれた不平等条約の改正，科学の発展への貢献などにより，我が国の国力の充実と国際的地位の向上が図られたことが分かるようにする

→中歴史(5)ウ

・自由民権運動，大日本帝国憲法の制定，日清・日露戦争，条約改正などを通して，立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに，我が国の国際的地位が向上したことを理解させる

→中歴史(5)エ

・我が国の産業革命この時期の国民生活の変化，学問・教育・科学・芸術の発展などを通して，我が国で近代産業が発展し，近代文化が形成されたことを理解させる

学習の手立ての例

- ・国会開設や大日本帝国憲法制定に関わった人々の働きについて調べたり，それらが開設，制定された意義を考えたりする
- ・ビゴアの風刺絵やグラフ資料などを活用し，日清・日露戦争がどのような戦争であったか調べる
- ・条約改正に関わる事件や動きを年表にまとめる
- ★日清・日露戦争の原因と経過，下関条約・ポーツマス条約の内容について具体的に調べる
- 📍県内に残る，日清・日露戦争に関係する資料（出兵にかかわる資料，石碑など）を活用する
- 📍県内の科学や産業の発展に関わる人物（鈴木梅太郎，山葉寅楠，豊田佐吉など）について調べる

ケ 日華事変, 我が国にかかわる第二次世界大戦, 日本国憲法の制定, オリンピックの開催などについて調べ, 戦後我が国は民主的な国家として出発し, 国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

主な学習内容

「日華事変, 我が国にかかわる第二次世界大戦」について調べる

- 例) ・我が国と中国との戦いが全面化したことを取り上げて調べ, 我が国が戦時体制に移行したことが分かるようにする
- ・我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを取り上げて調べ, 各地への空襲, 沖縄戦, 広島・長崎への原子爆弾の投下など, 国民が大きな被害を受けたことが分かるようにする

*これらの戦争において, 我が国は, 中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことについても触れることが大切

「日本国憲法の制定」について調べる

- ・戦後民主的で平和主義的な憲法が制定されたことを調べ, 戦後我が国が民主的な国家として出発したことが分かるようにする

*憲法の基本的な原則などについては, 内容(2)のイの日本国憲法に関する学習において指導する

「オリンピックの開催」について調べる

- 例) スポーツの祭典としてアジアで初めて東京で行われたオリンピック大会や, その後我が国で開催されたオリンピック大会を取り上げて調べ, 戦後我が国の国民生活が向上したことや我が国が国際社会において重要な役割を果たしてきたことが分かるようにする

◇図書館, 博物館, 郷土資料館, 資料の活用・聞き取り調査

- 例) ・学校図書館や公共図書館, 博物館や郷土資料館などを活用したり
- ・地域の高齢者に話を聞いたりする
- などの活動を取り入れ, 児童が自ら資料を活用したり調査したりする

◎戦後我が国は民主的な国家として出発し, 国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かるようにする

- ・戦後我が国は日本国憲法を制定し民主的な国家として出発したこと
- ・戦後は国民の不断の努力によって国民生活が豊かになり国際社会においても重要な役割を果たしてきたことが分かるようにする

→中歴史(5)カ

- ・軍部の台頭から戦争までの経過と, 大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解させる

→小6社会(2)

- ・我が国の政治の働き

→小6社会(3)

- ・世界の中の日本の役割

→中歴史(6)ア

- ・世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解させる

→中歴史(6)イ

- ・我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上し, 国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解させる

学習の手立ての例

- ・地域の高齢者から話を聞いたり, 郷土資料館を見学したりして, 戦時下の生活や戦後の復興の様子について調べる
- ・戦時下の国内の被害や, 中国をはじめ, 多くの近隣諸国に与えた損害を調べる
- ★戦時体制への経緯や戦争が拡大する様子を年表にまとめる
- ★学校の様子や学童疎開など, 戦時下の子ども暮らしについて調べる
- 📍沼津, 静岡, 浜松の大空襲や, 地域であった空襲など, 静岡県下の戦災について調べる
 - ・日本国憲法の特徴を大日本帝国憲法と比較してまとめる
 - ・生活用品の変化や交通機関の整備から, 国民の生活の向上の様子を考える
 - ・オリンピックなど, 戦後日本で開催された国際的な行事について調べる
- 📍第五福竜丸の被爆がきっかけとなり, 広島で第1回原水爆禁止世界大会が行われたことに触れる

(2) 我が国の政治の働きについて、次のことを調査したり資料を活用したりして調べ、国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていること、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えるようにする。

(内容の取扱い)

- (2) ア 政治の働きと国民生活との関係を具体的に指導する際には、各々の国民の祝日に関心をもち、その意義を考えさせるよう配慮すること。
イ 国会などの議会政治や選挙の意味、国会と内閣と裁判所の三権相互の関連、国民の司法参加、租税の役割などについても扱うようにすること。

我が国の政治の働き

- ・我が国の政治が民主政治の考え方に基づいて国民生活の安定と向上を図るために果たしている働き

◎国民主権と関連付けて政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考える

- ・国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していることを調べることによって、我が国の政治が国民生活と密接な関係をもっていることや、政治は国民の願いを実現し国民生活の安定と向上を図るために大きな働きをしていることを、国民主権と関連付けて具体的に考える

◎現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考える

- ・日本国憲法に定められている国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本となる事柄を調べることによって、現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本理念である国民主権の考え方と深くかかわっていることを、日常生活における具体的な事柄と関連付けて考える

ア 国民生活には地方公共団体や国の政治の働きが反映していること。

(内容の取扱い)

- (2) ウ アの「地方公共団体や国の政治の働き」については、社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から選択して取り上げ、具体的に調べられるようにすること。

主な学習内容

「国民生活には地方公共団体や国の政治が反映していること」を調べる

- ・市(町)や県、国による社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの事例をいずれかを取り上げ、その事業が国民生活の安定と向上を図ろうとする地方公共団体や国の政治の働きによるものであることを具体的に調べる

* 社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などの中から事例を一つ選択

* これらの事業について、例えば、地域の人々や国民の願い、計画から実施までの期間や過程、規模や予算などを取り上げて具体的に調べる

例)・社会保障：

高齢者や障害者の介護、医療の充実、子育て支援などにかかわる具体的な事業を選択して取り上げ、市役所や町役場、県庁が地域の実情を調べ、人々の願いを取り入れながら必要な施策を決定し、国と協力して計画的に実行していること

・災害復旧の取組：

災害が起こったときには市役所や町役場、県庁が、緊急事態に対して組織的に救援活動を行ったり災害復旧のための工事を進めたりしていることや、国でも地方公共団体の救援活動を援助したり、災害復旧の施策を進めたりしていること

・地域の開発：

その事業について、計画から実施までの経過、規模や予算に着目し、その事業の実施に当たっては、市役所、県庁が、それぞれの地域の実態に応じて、住民の願いを取り入れながら、国と協力したり長期的な見通しを立てたりして、望ましい施策を決定し、実行していること

* 政治の働きと国民生活との関係の指導については、国民生活とかかわりが大きい具体的な事柄として、国民の祝日を扱うようにする。その際、国民の祝日に関する法律に定められている内容や由来などを取り上げながら、各々の祝日について関心をもち、その祝日が設けられている意義について考えることができるよう配慮する

→中公民(2)イ
・国民の生活と政府の役割
社会保障の充実

→中地理(2)ウ(7)
・自然環境を中核とした考察
地域の自然災害に応じた防災対策

→中地理(2)ウ(1)
・環境問題や環境保全を中核とした考察

◇調査・資料の活用

- ・児童の関心や地域の実態に応じて、調査活動を取り入れたり資料を活用したりして学習が具体的に展開できるようにする

*その際、国の政治の働きを具体的に理解できるようにするために、

- ・国会議員の選挙、国会の働きについて取り上げ国会などの議会政治の働きや選挙の意味を理解できるようにする

*国会などの議会政治や選挙の意味：

国会などの議会政治や国会議員などの選挙を取り上げ、選挙は国民や住民の代表者を選出する大切な仕組みであること、国民の代表者として選出された国会議員は国民生活の安定と向上に努めなければならないこと、国民や住民は代表者を選出するため、選挙権を正しく行使することが大切であることを考えるようにする

- ・政治の働きと税金の使われ方の関係について取り上げ租税の役割を理解できるようにする

*租税の役割：

国や県、市によって行われている社会保障、災害復旧の取組、地域の開発などに必要な費用は租税によってまかなわれていること、それらは国民によって納められていることなどを理解し、租税が大切な役割を果たしていることを考えることができるようにする

- ・国会の働きと関連付けて内閣や裁判所の働きを取り上げ三権相互の関連を理解できるようにする

*国会と内閣と裁判所の三権相互の関連：

「国会」が国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関として法律の制定や予算の議決、条約の承認などを行っていることを、「内閣」が国の行政権をもち、法律や予算に基づいて実際の政治を行っていることを、「裁判所」が司法権をもち、法律に基づいて裁判を行っていることを取り上げ、三権がそれぞれ大切な働きをしていることや、三権が相互に関連し合っていることについて理解できるようにする

*国民の司法参加：

国民が裁判に参加する裁判制度を取り上げ、法律に基づいて行われる裁判と国民とのかかわりについて関心をもつようにする

→中公民(3)イ
・民主政治と政治参加

◎政治は国民生活の安定と向上を図るために大切な働きをしていることを考えることができるようにする

学習の手立ての例

- ・市町の予算と住民の願いの資料を比較し、そのつながりについて調べる
- ・少子化や高齢化の問題に対して市町や県、国で取り組んでいることを調べ、市町や県の政治と国の政治のつながり、税との関連について考える
- ・税務署と連携して「租税教室」を実施し、税の役割について考える
- ・最近制定された法律を取り上げ、その法律と国会、内閣、裁判所の働きとの関連を考える
- ・国会、内閣、裁判所と国民との関わりについて調べる
- ・国民の祝日の内容や由来を調べ、それらの祝日が設けられている意義を考える

★新聞記事などを活用して、自然災害が起きた時に国と県、市町がどのような協力をしているか調べる

📍東海地震に対する国や静岡県の実践を調べる

イ 日本国憲法は、国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務など国家や国民生活の基本を定めていること。

(内容の取扱い)

(2) エ イの「天皇の地位」については、日本国憲法に定める天皇の国事に関する行為など児童に理解しやすい具体的な事項を取り上げ、歴史に関する学習との関連も図りながら、天皇についての理解と敬愛の念を深めるようにすること。また、イの「国民としての権利及び義務」については、参政権、納税の義務などを取り上げること。

小6 社会(1)ケ →
・日本国憲法の制定

主な学習内容

日本国憲法は「国家の理想や国民生活の基本を定めていること」を調べる

- ・日本国憲法には国家の理想、天皇の地位、国民としての権利及び義務などが定められていること
- ・これらは国家や国民生活にとって基本となる事柄であることを調べる

「国家の理想」について調べる：

- ・日本国憲法に示された基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の基本的な原則を取り上げて調べ、国民の基本的人権は侵すことのできない永久の権利として保障されていること、主権は国民にあること、平和を希求しそしてその実現や維持のために尽くすことが国民の義務であることや我が国が国際紛争を解決する手段としての戦争を永久に放棄することとすることを理解できるようにする

「天皇の地位」について調べる：

- ・天皇の国事行為などを取り上げて調べ、天皇は日本国の象徴であり日本国民統合の象徴として位置付けられていることを理解できるようにする

「国民としての権利及び義務」について調べる：

- ・日常生活にみられる国民の権利、義務に関する具体的な事例を取り上げて調べ、
- ・生命、自由及び幸福の追求に対する国民の権利は侵すことのできない永久の権利として国民に保障されたものであり、それを保持するためには国民の不断の努力を必要とするものであること
- ・参政権は国民主権の表れであり、民主政治にとって極めて重要であること
- ・国民は権利を行使する一方で、勤労や納税の義務などを果たす必要があることなど

を理解できるようにする

* 権利の行使について、国民は公共の福祉のために諸権利を行使する責任を伴うものであり、他の人々の権利の行使に十分に留意する必要があることについても理解できるようにする

* 国民の権利については、参政権、義務については、納税の義務を取り上げる

◇調査・資料の活用

- ・日常生活との結び付きが見られる事例など、児童にとって理解しやすい事例を取り上げ、日本国憲法の基本的な考え方を具体的に理解できるように留意する

◎現在の我が国の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていることを考えることができるようにする

→中公民(3)ア
・人間の尊重と日本国憲法の基本的原則

→中公民(3)イ
・民主政治と政治参加

学習の手立ての例

- ・日本国憲法の三原則や、参政権や納税の義務の意味を、歴史や政治の学習で学んだ具体的な事象と関連付けながら考える
- ・基本的人権の尊重の具体的な事例を、地域の公共施設や取組の中から調べる
- ・新聞記事を活用して、天皇の国事行為について調べる
- ★教科書の無償配布や校舎のユニバーサルデザイン化など、基本的人権と学校生活の関わりについて考える
- ★選挙における投票率の動向と有権者の意識について調べる
- ★新聞記事を活用して社会で起きている問題を調べ、意見を交換し合う

(3) 世界の中の日本の役割について、次のことを調査したり地図や地球儀、資料などを活用したりして調べ、外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であること、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考えるようにする。

世界の中の日本の役割

・世界の国の人々と相互に理解を深め合い、平和な国際社会の実現を目指して、我が国が国際社会の中で果たしている重要な役割

◎外国の人々と共に生きていくためには異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを考える

・我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子を調べることによって、外国の人々の文化や習慣の違いに触れ、その違いを理解し尊重することが、外国の人々と共に生きる上で大切であることを考える
 ＊その際、これまでの学習で身に付けた自国に対する理解との関連を図りながら、外国の異なる文化や習慣を適切に理解できるように配慮する

◎世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考える

・我が国の国際交流や国際協力の様子、及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働きを具体的事例を通して調べ、平和な国際社会の実現のために我が国が果たしている役割を考える

ア 我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子

(内容の取扱い)

(3) ア アについては、我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げること。その際、それらの中から児童が一国を選択して調べるよう配慮し、様々な外国の文化を具体的に理解できるようにするとともに、我が国や諸外国の伝統や文化を尊重しようとする態度を養うこと。
 エ ア及びイについては、我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

小3, 4社会(6)エ →
 ・人々の生活や産業と国内の他地域や外国とのかかわり

小5社会(1)ア →
 ・世界の主な大陸と海洋, 主な国の名称と位置

小5社会(2)ア →
 ・様々な食料生産が国民の食生活を支えていること, 食料の中には外国から輸入しているものがあること

小5社会(1)イ →
 ・国土の地形や気候の概要, 自然条件から見て特色ある地域の人々の生活

「我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の人々の生活の様子」について調べる

・貿易や経済協力などの面, 歴史や文化, スポーツの交流などの面で我が国とつながりが深い国を取り上げ, それらの国の人々の生活の様子を具体的に調べる

人々の生活の様子：

例) 衣服や料理, 食事の習慣, 住居などの衣食住の特色や, 国民に親しまれている行事, 学校生活や子供の遊び, あいさつの仕方やマナー等の習慣など

＊教師が、我が国とつながりが深い国から数か国を取り上げ、その中から、児童一人一人が自らの興味・関心や問題意識などに基づいて調べる国を一国選択して調べるように配慮できるようにする

＊児童が選んだ国によって調べる資料の量などに大きな違いが生じることのないように、教師は個に応じた適切な指導を心がける

◇調査・地図、地球儀、資料の活用

例) ・外国語活動における外国の人々との交流体験で出会った外国人を招き話を聞く

・それぞれの児童が選択して調べた国の人々の生活の様子を互いに発表し考えたことを伝え合う

・地図帳や地球儀を用いて我が国と経済や文化などの面でつながりが深い国の名称と位置を確認したり、日本から見た方位などを調べたりする

◎外国の人々と共に生きていくためには、異なる文化や習慣を理解し合うことが大切であることを考える

→中地理(1)イ
 ・世界各地の人々の生活と環境

→中地理(1)ア
 ・世界の地域構成

学習の手立ての例

・我が国とつながりの深い国の料理や衣服, 学校生活などを調べ, 異なる文化や習慣について考える
 ☞自分の住む市町の姉妹都市, 富士山静岡空港でつながっている国とその交流の様子について調べる

イ 我が国の国際交流や国際協力の様子及び平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き

(内容の取扱い)

- (3) イ イの「国際交流」についてはスポーツ、文化の中から、「国際協力」については教育、医学、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から、それぞれ選択して取り上げ、国際社会における我が国の役割を具体的に考えるようにすること。
- ウ イの「国際連合の働き」については、網羅的、抽象的な扱いにならないよう、ユニセフやユネスコの身近な活動を取り上げて具体的に調べるようにすること。
- エ ア及びイについては、我が国の国旗と国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗と国歌も同様に尊重する態度を育てるよう配慮すること。

主な学習内容

小6社会(1)ケ →
 ・日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること

「我が国の国際交流や国際協力の様子」について調べる

- ・スポーツや文化を通して国際交流を行っている様子を取り上げ、我が国は世界の人々と互いに親善や理解を深めていることを調べる

*** 国際交流：スポーツ、文化の中から選択**

例) オリンピックや国際競技会などのスポーツによる国際交流・歌舞伎や能、邦楽の演奏などの海外公演、海外での柔道や剣道などの我が国の伝統的武道の紹介、外国の絵画や舞踊、音楽などの日本での展覧会や公演など文化による国際交流

- ・教育や医学、農業などの分野で国際協力を行っている様子を取り上げ、我が国は世界の平和や発展のために貢献していることを調べる

*** 国際協力：教育、医学、農業などの分野で世界に貢献している事例の中から選択**

例) 教育、医学、農業など様々な分野で技術者を海外に派遣したり、国内に海外からの研修生を受け入れたりしている事例

「平和な国際社会の実現に努力している国際連合の働き」について調べる

- ・平和な国際社会の実現のために大きな役割を果たしている国際連合の働きを取り上げ、我が国が国際連合の重要な一員として平和な国際社会の実現に大きな役割を果たしていることを調べる

*** 国際連合の働き：ユニセフやユネスコの身近な活動**

◇調査・資料の活用

- 例) ・地域の留学生や外国で生まれ育った人、青年海外協力隊の元隊員などから話を聞いて調べる
- ・ユニセフ募金のポスターなどを活用して募金の使われ方を調べる
 - ・インターネットを活用して必要な資料を収集して調べる

◎我が国や日本人が、過去の戦争や原爆による人類最初の災禍などの経験を生かして国際社会の平和と発展のために、今後、果たさなければならない責任と義務が重いものであることに気付くようにするとともに、世界平和の大切さと我が国が世界において重要な役割を果たしていることを考える

*** 我が国の国旗と国歌の意義**

- ① 国旗と国歌はいずれの国ももっていること
- ② 国旗と国歌はいずれの国でもその国の象徴として大切にされており、互いに尊重し合うことが必要であること
- ③ 我が国の国旗と国歌は、それぞれの歴史を背景に、長年の慣行により、「日章旗」が国旗であり、「君が代」が国歌であることが広く国民の認識として定着していることを踏まえて、法律によって定められていること
- ④ 国歌「君が代」は、日本国憲法の下においては、日本国民の総意に基づき天皇を日本国及び日本国民統合の象徴とする我が国の末永い繁栄と平和を祈念した歌であること

→中公民(4)ア
 ・世界平和と人類の福祉の増大

学習の手立ての例

- ・青年海外協力隊や日本赤十字社などの活動について調べる
 - ・海外公演や海外でのスポーツ競技など、他国の人々と親善や理解を深めている事例について調べる
- 📍 静岡県に関わりのある人の、世界の国々での活躍の様子について調べる